

第14回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第14回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第14回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第14回鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第17回鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第13回鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同時開催〕

説明資料

日時:令和7年6月3日(火)午後2時00分～

場所:中部総合事務所1号館2階講堂(一部オンライン会議併用)

次第

1. 開会

2. 議事

(1) 規約改正について

(2) 令和7年出水期の天候の見込みについて

(3) 令和6年度・令和7年度の減災に係る取組について

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

・各機関の取組について

(5) 情報提供

3. 閉会

(1) 規約改正等について

(1) 規約改正等について

規約の主な改正点

- 組織改編等による協議会・幹事会構成員の役職変更

①協議会オブザーバー 農林水産省の役職付けから機関名へ変更

県

※中国四国農政局 農村振興部 洪水調節機能強化対策官→中国四国農政局

②幹事会オブザーバー 農林水産省の役職付けから機関名へ変更

県

※中国四国農政局 農村振興部 設計課 事業計画管理官
→中国四国農政局 農村振興部

③幹事会構成員 米子市の組織改編による役職名変更

県

※下水道企画課長→上下水道局 副局長

(2) 令和7年出水期の天候の見通しについて

気象台資料を用いて説明

大規模氾濫時の減災対策協議会
及び
各地区流域治水及び減災対策協議会

令和7年度出水期の天候の見通し
(5月20日発表の3か月予報)

鳥取地方気象台
令和7年6月3日

6月～8月の天候見通し

中国地方（山口県を除く） 3か月予報（06月～08月）

2025年05月20日 14時00分 広島地方気象台 発表

06月～08月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。

気温、降水量の各階級の確率（%）

		06月～08月	確率 (%)		
			低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	中国地方	06月～08月	10	30	60
		06月	10	30	60
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50
降水量	中国地方	06月～08月	20	40	40
		06月	30	30	40
		07月	30	30	40
		08月	30	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回発表予定等

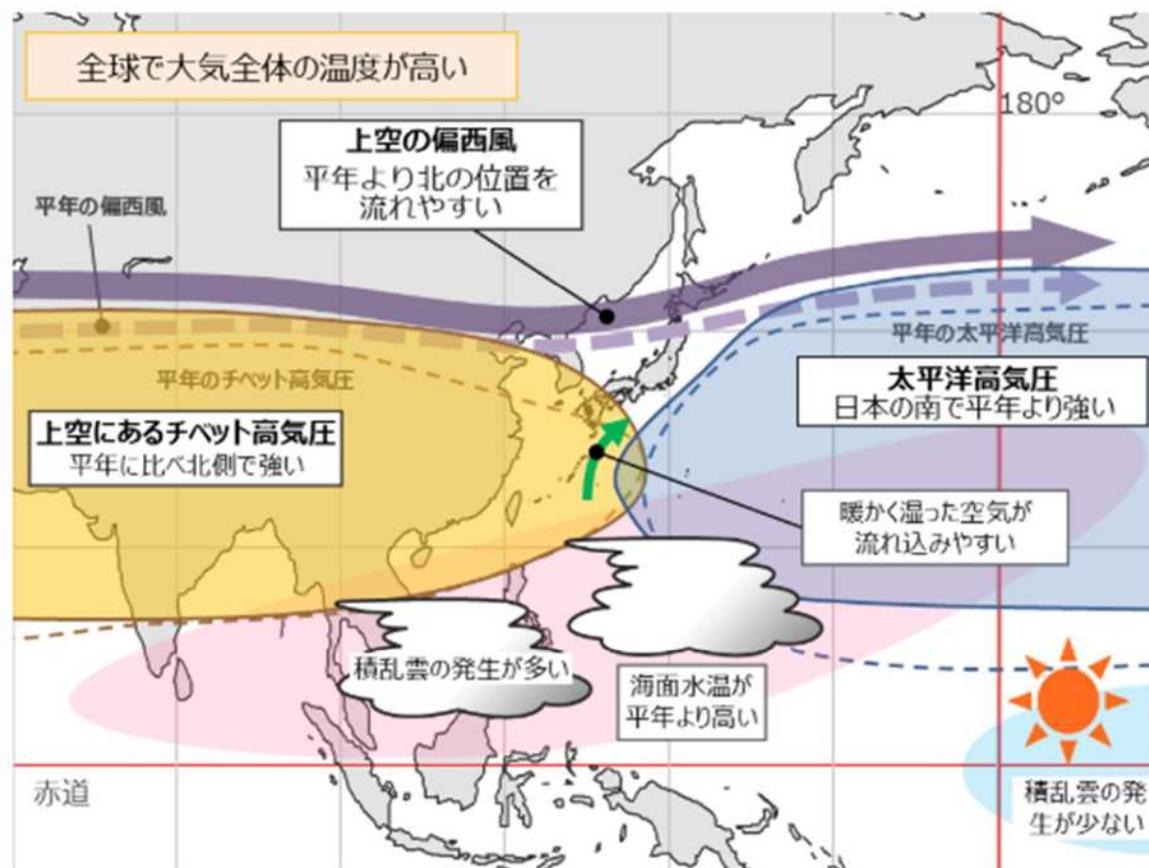
次回は2025年06月24日(火)14時00分に発表予定

なお、6月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。 また、暖候期予報として発表していたこの夏（6～8月）の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

予想される海洋と大気の特徴

中国地方3か月予報（令和7年5月20日発表）の解説資料より

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いくでしょう。
- 太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いくでしょう。このため、積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多いくでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いくでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本の南で西への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすいくでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいくでしょう。また、本州付近を中心に、梅雨前線の活動が活発となる時期があるでしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

[中国地方の梅雨]

平年	入り	6月6日ごろ	明け	7月19日ごろ
令和6年	入り	6月20日ごろ	明け	7月21日ごろ

注) 梅雨入り・明けは、一般に数日程度の幅を持つ現象（〇〇日ごろと表現）。

(3) 令和6年度・令和7年度の減災に係る取組について

鳥取河川国道事務所の取組事例

国土交通省 中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

8 タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

継続

■対象機関(赤字)
鳥取市・鳥取県・鳥取地方気象台・中国地整

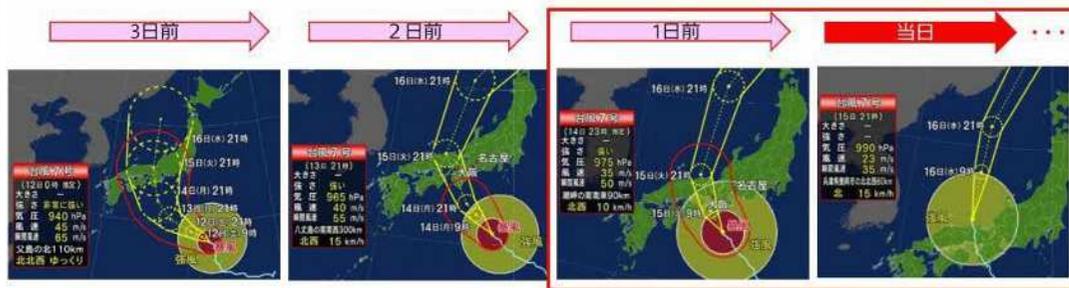
■課題対応:A、C、E、G、H、Q
■目標時期:R2～ 定期的な実施

【千代川水系】 □ 第13回千代川水害タイムライン検討会において、情報伝達訓練を実施(令和6年度)

市県気国 情報伝達訓練の実施

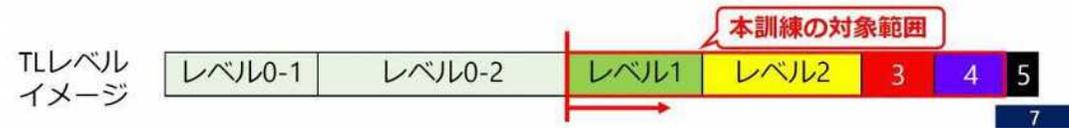
訓練で想定する状況

▶ 令和5年度 台風7号を想定した訓練とします。



【出典：NHKより：<https://www3.nhk.or.jp/news/saigai.html>】

- ▶非常に強い台風
- ▶強い台風
- ▶強い台風
- ▶豊岡市の北北西約60 km
- ▶父島の北約110 km
- ▶八丈島の南南西30 km
- ▶潮岬の南南東90 km
- ▶15km/hrで北に進む
- ▶北北西にゆっくり進む
- ▶15 km/hで北西に進む
- ▶15 km/hで北西に進む



出典：第13回千代川水害タイムライン検討会資料



■対象機関(赤字)

鳥取市・鳥取県・鳥取地方気象台・中国地整

■課題対応:F、G

■目標時期:継続実施

【千代川水系】

- 出前講座を実施(令和3年度)
- 鳥取市マイ・タイムラインを活用したワークショップを開催(令和3年度)
- 防災アプリにマイ・タイムライン作成のための予算措置(令和6年度) !



地域住民を対象とした出前講座



令和2年度の実績(第9回協議会資料)

- ・美保南地区(R2.7.25)
- ・松保地区(R2.9.18)
- ・就労支援事務所(R2.10.21)
- ・矢原地区(R2.11.6)

出典: 第9回・第11回協議会資料(鳥取河川国道事務所)



鳥取市マイ・タイムラインを活用したワークショップの開催

- ・令和6年久松小学校、富桑小学校で出前講座にて講習



第3期の取組方針策定に向けた今年度の予定

第2期の取りまとめ・第3期の取組策定の検討材料

- 第2期の取りまとめ、および第3期の取組策定に向けて、下表の資料①～③の作成をお願いいたします。
- 資料②③の作成にあたり、事務局で新たに実施する④到達レベルに応じた質的評価、⑤住民目線による取組効果の現状評価の資料もご活用いただけるよう、準備を進めてまいります。

	協議会構成員の皆様にご作成をお願いしたい資料			事務局作成資料	
	毎年実施	昨年度依頼済		今年度新規実施	
資料	資料①	資料②	資料③	資料④	資料⑤
資料	各取組項目の進捗管理表 (令和6年度の取組)	第3期の策定に向けた各取組項目の整理表	第2期の取組に関する取りまとめ資料	到達レベルに応じた質的評価	住民を対象とした水防災意識アンケート調査
目的	毎年の取組進捗状況の調査	第3期の策定に向けた、各機関の現状と目標の整理	第2期の取組状況の振り返り、および共有	本質的な成果の取りまとめ	住民目線による取組効果の現状評価
内容	令和6年度時点における実施状況と、実施内容を記入	<ul style="list-style-type: none"> 担当部署 第2期の実施事項と令和7年度末時点の見通し 第3期に実施する項目を記入 ※資料④⑤も活用	第2期の各取組項目の実施状況をPPT1枚ずつにまとめる ※資料④⑤も活用	進捗管理表や会議資料から第1期、第2期の取組実績を整理し、取組状況を5段階の到達レベルで質的評価を行う	浸水想定区域内の住民に対し、水防災意識のアンケート調査を実施する
期限	令和7年5月上旬(仮)	令和7年10月 (意見交換会②)	令和7年10月 (意見交換会②)	令和7年7月末(仮) 意見交換会①で提示 ※②③の取りまとめの材料とする	令和7年7月末(仮)
状況	※今後関係機関に依頼予定	※令和6年12月の担当者会議で関係機関に依頼済	※令和6年12月の担当者会議で関係機関に依頼済	※今後実施予定 (令和7年6月～7月)	※今後実施予定 (令和7年6月～7月)

第2期の取りまとめ・第3期の取組策定に向けた検討ステップ

協議会構成員の皆様の実施事項

Step0: 令和6年度の取組に対する自己評価

資料①: 各取組項目の進捗管理表(令和6年度の取組)

Step1-1: 第2期の取組に対する自己評価

資料②: 第3期の策定に向けた各取組項目の整理表
資料③: 第2期の取組に関する取りまとめ資料

客観的評価を
②③に反映

事務局実施事項

Step1-2: 事務局・住民による客観的な評価

資料④: 到達レベルに応じた質的評価
資料⑤: 住民を対象とした水防災意識アンケート調査

Step1-3: 関連計画の調査

県や市の総合計画や国土強靱化計画等、各種関連計画の目標を調査し、具体目標の参考とする。

共同実施事項

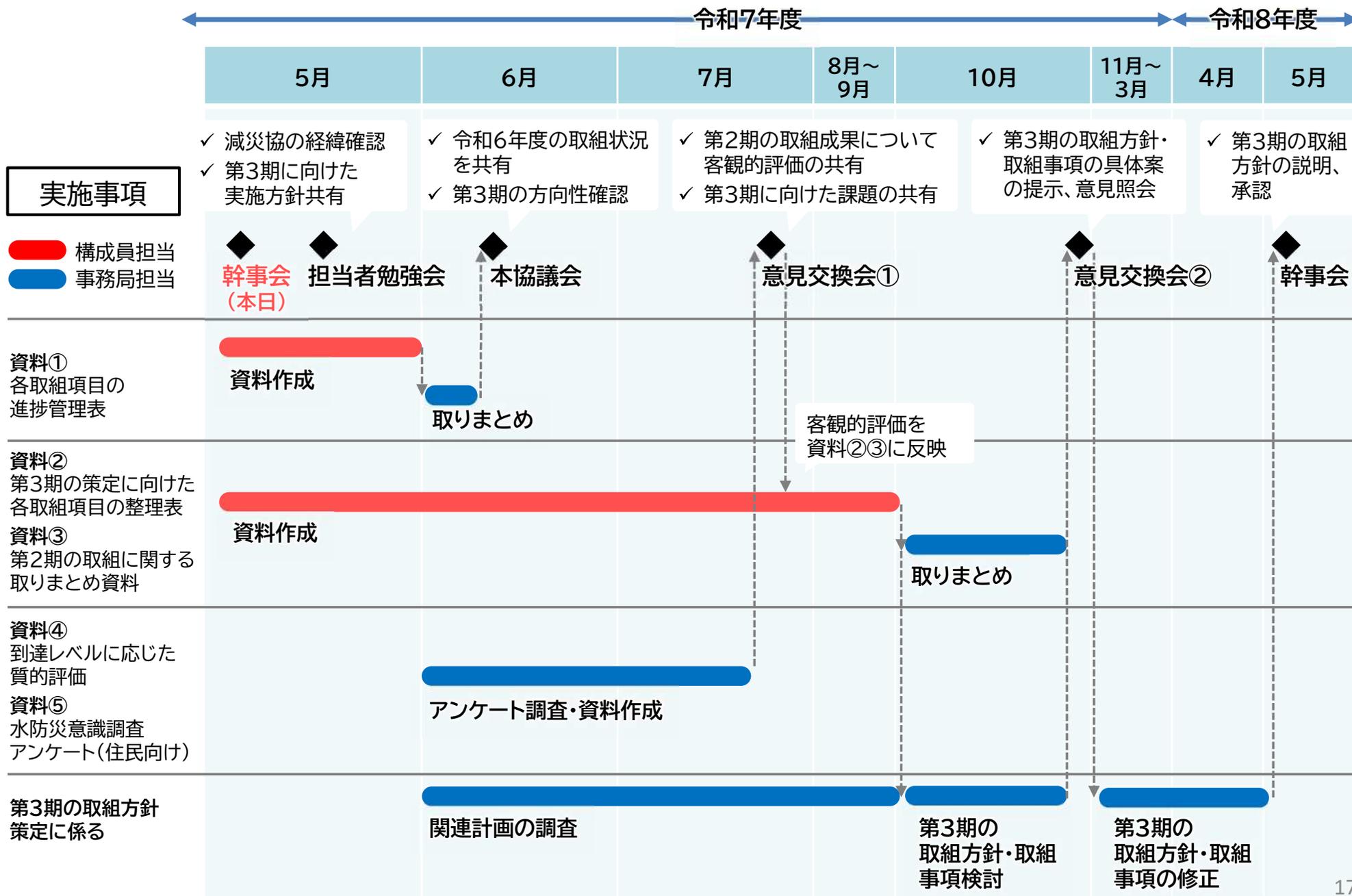
Step2: 現時点における課題抽出

第2期の取組評価と目標の差を分析し、課題を抽出する

Step3: 第3期の具体目標の設定

第2期までの取組項目の継続性を確保しつつ、抽出した課題を解決する次期取組項目を設定し、関連計画との整合性も図りながら、具体目標を設定する。

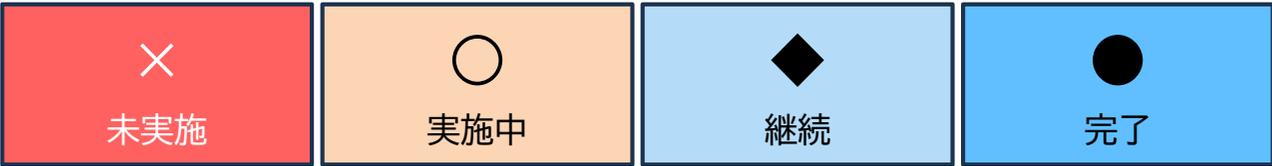
第2期の取りまとめ・第3期の取組策定に向けたスケジュール



資料④到達レベルに応じた質的評価による取組評価

第2期の取組を質的に評価することで、第2期の取りまとめと、第3期の取組の継続・完了・新規取組策定の判断に活用します。

現在のフォローアップ調査形式 取組状況を以下の4段階で評価している。



- 課題**
- 目標に対する実施状況が確認できず、課題の把握ができていない。(例:「未実施」の取組項目がなぜ未実施なのか分からない)
 - 継続・完了している取組の中で、取組深度化を図っている好事例が埋もれてしまっている可能性がある。



質的評価 「未実施」のレベルを2段階、「実施中」のレベルを2段階に分け、「継続」「完了」の意味を再定義することで、正確に評価する。



- 流域内の取組状況の正確性が向上するとともに、目標と取組の現在値を評価することで、第3期における取組の継続・完了・新規取組策定の判断につながる。

資料⑤住民を対象とした水防災意識アンケート調査

第2期の取組効果を、アンケートを通じて**住民目線で評価**することで、第2期の取りまとめと、第3期の取組の継続・完了・新規取組策定の判断に活用します。

- ✓ アンケート方法:Webモニターアンケート
- ✓ 実施期間:令和7年6月～7月(予定)
- ✓ アンケート調査項目及び設問は、減災対策協議会での取組内容と対応して設定
(具体的内容については、実施前にお知らせします)

設問項目(案)	ねらい
水害リスクの認知度	ハザードマップや浸水実績の周知等の取組進捗を評価
水害への備えに関する理解度	水害への備えとして正しい知識を持っているかを問い、 防災教育の促進に係る取組の進捗を評価
取組の認知度、実施状況	マイ・タイムラインの作成や避難訓練への参加等の 取組進捗を評価

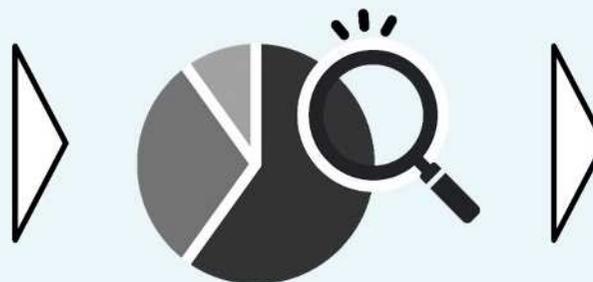
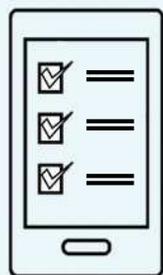
活用事例

「ハザードマップの改良、周知、活用」や「浸水実績等の周知」に関する取組項目は、全機関が一度は実施しているものの、実際に住民に伝わっているかは不明。

⇒ハザードマップ・浸水実績に関する認知度を調査し、**取組方法の見直し・改良**を行う



アンケートにより認知度を調査



住民目線による取組効果の評価を分析



取組方法の見直し・改良

天神川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 資料

国土交通省 中国地方整備局
倉吉河川国道事務所



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. ダム事前放流の取組
5. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及
6. 中学校を対象とした防災教育の実施
7. 合同点検・操作訓練の実施

■ハード対策

8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- 令和6年度は、**タイムラインレベル1に到達した出水のみ**であった。令和6年6月の顔合わせ・読み合わせに加えて、令和7年2月に出水期でのタイムライン運用を踏まえたタイムライン見直し(案)の確認を実施した。
- 具体的に、タイムライン見直し(案)としては、**詳細版の修正方針及び運用支援システムの改良方針の提示**を行った。

令和6年
6月6日

第13回検討会（令和6年第1回検討会）
□顔合わせ、タイムライン修正版を踏まえた読み合わせ 等

タイムラインレベル1
に到達した出水のみ



令和7年
2月

第14回検討会（令和6年第2回検討会）※
□振り返りアンケート結果、運用支援システム改良方針 等

※書面開催



令和6年度 第1回 天神川水害タイムライン検討会の様子

【座長講評】

- 運用支援システムは、これまでの出水期での運用を踏まえた改善により、様々な情報を集約したツールになっている。しかし、操作に習熟していないと有効活用できないため、担当者には操作方法を理解していただきたい。そして、出水期に実際に使用していただき改善点があれば連絡をお願いしたい。
- 本検討会の目標は水害時の「逃げ遅れゼロ」になる。この目標の達成のため、関係機関の皆様には協力をお願いしたい。

【関係機関からの主な意見】

- タイムライン運用支援システムは、関係機関は日ごろから確認できるのか？

→システムは、関係機関は日ごろから確認可能。ただし、アクセス集中等により表示に支障が無いように一般公開していない。

1. 多機関連携型タイムラインの運用

➤ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① **トップページを、現行の基準に合わせて、TL 4 相当を「非常に危険・極めて危険」から「危険」、TL 5 相当を「－」から「災害切迫」に修正**

② **外部サイトのリンク追加（鳥取県土砂災害警戒情報システム（公開版））**

天神川水害タイムライン運用支援システム

タイムライン
変更ツール
(管理者用)

発動していません



水位
が分かる



道路情報
が分かる



台風の進路
が分かる



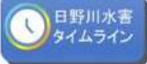
停電情報
が分かる



倉吉河川
国道事務所
補門情報提供



タイムライン
を見る



日野川水害
タイムライン



千代川水害
タイムライン

タイムラインレベルに関 わる情報		TL0相当	TL1相当	TL2相当	TL3相当	TL4相当	TL5相当
河川水位	今の状況	-	-	水防回待機水位超過	避難判断水位超過	氾濫危険水位超過	-
小田	0.50m	-	-	3.5m	5.7m	6.9m	-
竹田橋	1.76m	-	-	2.9m	4.7m	5.95m	-
河原町	0.68m	-	-	2.2m	3.7m	4.2m	-
三朝	1.80m	-	-	-	4.2m	5.0m	-
福光	0.83m	-	-	1.8m	3.3m	3.6m	-
気象情報	今の状況						
大雨警報	-	-	-	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
洪水警報	-	-	-	洪水注意報	洪水警報	-	-
洪水予報	-	-	-	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
その他※	※下の項目はタイムラインレベルの判断に関わる情報ですが、着色はされないためクリックで確認ください。						
台風	-	2~3日後	-	-	-	-	-
早期注意情 報	-	2~3日後	1日後	-	-	-	-
大雨情報	-	-	-	-	-	記録的短時間大雨情 報	-
大雨警報の 危険度分布	-	-	-	注意	警戒	危険	災害切迫
洪水警報の 危険度分布	-	-	-	注意	警戒	危険	災害切迫

TL 4 相当と TL 5 相当を
現行の基準に合わせて修正

1. 多機関連携型タイムラインの運用

➤ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① トップページを、現行の基準に合わせて、TL 4 相当を「非常に危険・極めて危険」から「危険」、TL 5 相当を「-」から「災害切迫」に修正河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

② 外部サイトのリンク追加(鳥取県土砂災害警戒情報システム(公開版))

リンクアイコンを追加

天竺川水害タイムライン運用支援システムの修正内容

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和6年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに2か所設置**されました。



「まるごとまちごとハザードマップ」とは
 千年に一度起こるかどうかの猛烈な大雨で予想される最大浸水の深さを”まちなか”に表示して、地域の洪水の危険性を知ることによって防災への意識を高めます。

令和6年度は、自主防災組織が想定浸水深看板を設置する経費の1/2を倉吉市が助成する制度を活用し、2箇所の設置がありました。

倉吉市が小中学校などに設置した27施設に加え、自主防災組織の設置が12施設となり、市内計39施設の設置数になりました。※国及び県の設置は含まれていません。



No.	施設名	所在地	想定浸水深
1	下田中自治公民館	下田中	5.2m
2	上井1丁目西自治公民館	上井1丁目	5.6m

5m以上
 3m以上 5m未満
 3m未満



下田中自治公民館



上井1丁目西自治公民館

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和6年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに2か所設置**されました。



3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取組を加速しています。
- 各市町の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成状況も上がっています。
- 今後は、避難確保計画の作成に加え、**訓練実施の支援**も促進する必要があります。

【大規模氾濫減災協議会】の運用について（平成29年6月19日）【抜粋】

7. 協議会での取組事項

(1) ① - 1カ 要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成・訓練に対する支援

- ・洪水浸水想定区域内における要配慮者利用施設及び地下街等の立地状況を確認するとともに、市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の避難確保計画及び地下街等の避難確保浸水防止計画の作成状況、訓練の実施状況を確認する。
- ・避難確保計画の作成状況や訓練の実施状況を踏まえ、それぞれの取組を促すための支援策について検討調整する。また、施設職員だけで対応することが難しい場合の地域の支援体制について検討・調整する。

避難確保計画の作成状況

	対象施設数	避難確保計画 作成済み施設数
倉吉市	170	170
三朝町	11	10
湯梨浜町	32	30
北栄町	32	26

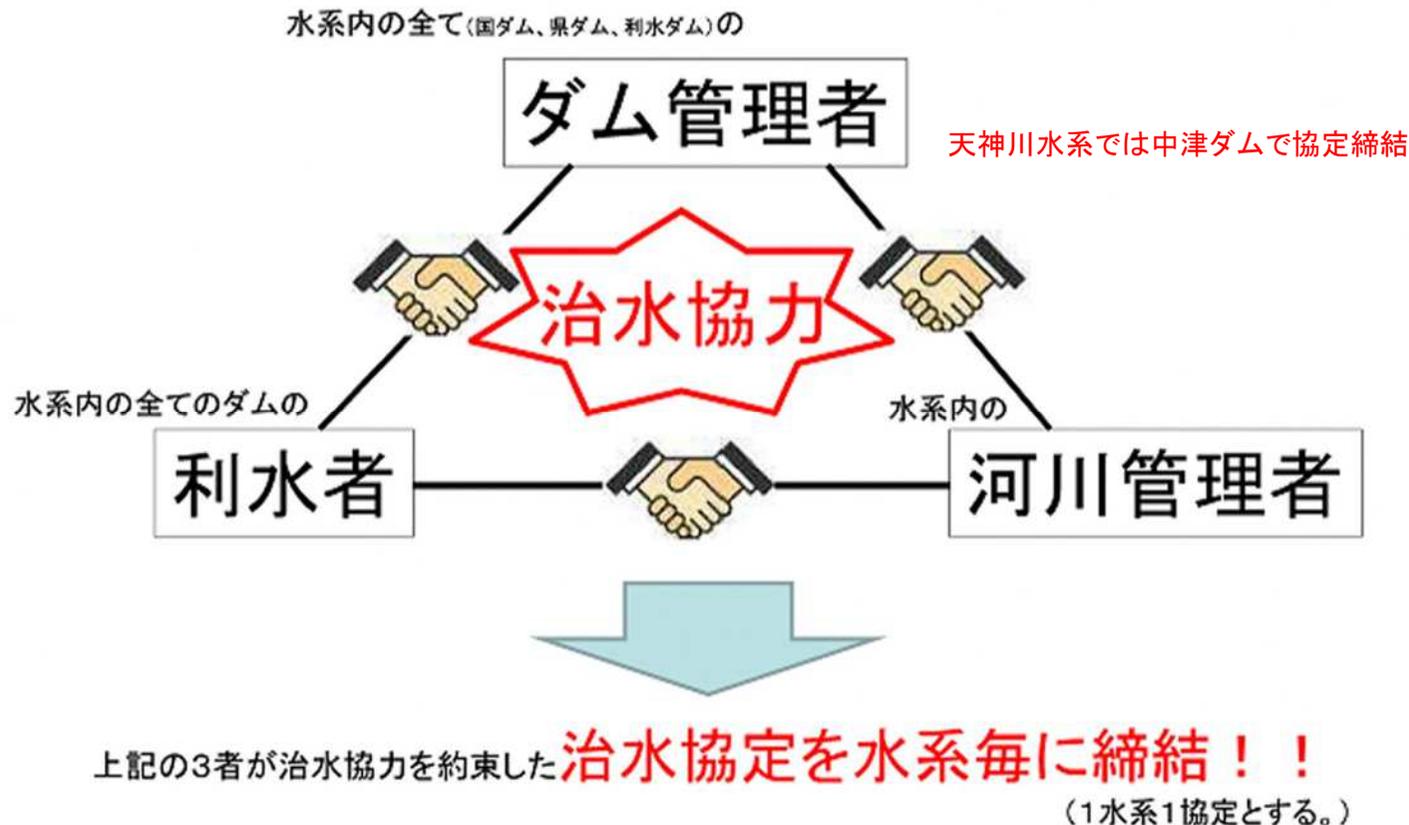
避難確保計画に基づく訓練の実施状況

	訓練実施済の 施設数
倉吉市	158
三朝町	10
湯梨浜町	7
北栄町	26

作成数・訓練の実施数は、進捗管理表のアンケート結果より集計（R6.3）

4. ダム事前放流の取組

- 令和元年台風19号等の被害を踏まえ、緊急時において既存ダム（利水ダム含む）の洪水調節機能の強化に向けて、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針(令和元年12月12日)」が定められました。
- 本方針に基づき天神川水系では、河川について水害発生の防止等を図るために、令和2年に天神川水系治水協定を締結し、中津ダムの洪水調節機能強化を推進しています。
- 中津ダムでは、洪水調節容量を、利水容量から一時的に確保する事前放流する取組が、ダム工事のため中断していましたが、工事完了に伴い、令和6年8月から事前放流の取組を再開しています。



治水協定イメージ

5. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及

- 倉吉河川国道事務所では、近年洪水に関する地域住民の関心が高まる中、積極的に防災講習会を行っています。令和6年度は、倉吉市上井地区・上小鴨地区の住民から要望を受けて説明会を実施しました。
- 説明会では、**天神川の特徴、河川整備計画**や、流域のあらゆる関係者が協働して行う流域治水への転換を進める**流域治水プロジェクトの重要性**などについて説明しました。

倉吉市上井地区

【実施日】令和6年6月11日(火)

【開催場所】上井コミュニティーセンター

【参加者】近隣住民やコミュニティーセンター職員 約30名

【感想・質問等】

Q.まるとまちごとハザードマップの浸水深の高さはどんな場合を示しているのか

A.千年に一度の規模の雨により洪水が発生し、破堤による浸水範囲が最も大きくなる場合の浸水深を示している



倉吉市上小鴨地区

【実施日】令和6年7月28日(日)

【開催場所】上小鴨コミュニティーセンター

【参加者】近隣住民やコミュニティーセンター職員 約30名

【感想・質問等】

内外水一体型の水害リスクマップは地域の内水対策の解決策や対策に繋がるので早く公表して欲しい



5. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及

- 三朝町総合文化ホールで開催された**三朝町外国人防災勉強会**に**降雨体験機の設置**と**令和5年台風7号、伊勢湾台風のパネル展示**を行いました。
- 三朝町をはじめとする近隣市町在住の外国人の方に参加いただき、防災かるたや防災ボトルづくりなどの**防災学習を体験**いただきました。

実施日 令和6年10月27日（日）10:00～12:00

開催場所 三朝町総合文化ホール

参加者 30名程度

参加機関 国際交流財団、三朝町、鳥取地方気象台、倉吉河川国道事務所、鳥大防災Lab.、岡山大学



パネル展示と降雨体験機



降雨体験



防災かるた



雨量計、風向風速計

6. 中学校を対象とした防災教育の実施

- 倉吉河川国道事務所では、川の防災教育を継続的に実施しており、その取り組みの一環として、倉吉市立東中学校の生徒に「**天神川の防災(水害)**」について出前講座を行いました。
- 当日は、**天神川の特徴**や**過去の被害**、**河川事業**、**流域治水**の取り組みについて説明を行いました。また、「河川三次元管内図」というシステムを実際を使って、どこでどれくらい浸水するのか、どこにどんな生き物が生息しているかなどを見ていただきました。(※河川三次元管内図=浸水想定区域図や航空写真、河川環境情報図などを地図上に表示でき、河川を立体的に見ることが可能)

倉吉市立東中学校

【実施日】令和6年5月30日(木)

【参加者】生徒 5名

【感想】

- 川の課題や対策について学ぶことができた
- 被害を防ぐために色んな対策をしていることを学んだ
- どこに避難をしたらいいか、ハザードマップを使って確認をしたい
- いつ来るか分からない災害に向けて防災グッズを備えたい



7. 合同点検・操作訓練の実施

- 天神川水系直轄管理河川に係る洪水時に危険が予測され重点的に点検が必要な箇所(重要水防箇所)について、沿川の自治体(倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町)及び水防団と**合同点検**や情報共有を行いました。
- 倉吉河川国道事務所では、出水期に備え、非常時における災害復旧作業を迅速に行うことを目的として**災害対策用機械**(排水ポンプ車等)の**操作訓練**を実施しました。

重要水防箇所 合同点検



災害対策用機械 操作訓練



7. 合同点検・操作訓練の実施

- 毎年行っている**樋門操作講習会**を今年度も開催しました。今回は新たに導入した「**樋門情報提供機能**」の**説明**も行いました。講習会には、**操作員のほかにバックアップ体制要員の市・町職員も合同で開催**しました。
- 天神川水系直轄管理河川の全区間において出水期前に、**毎年堤防点検を実施**しており、緊急を要するものが発見された場合は早急に対応を行っています。

樋門操作講習会の開催



堤防点検



8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 倉吉河川国道事務所では、氾濫による危険性が特に高い区間において、洪水を安全に流下させるため必要な樹木伐採・河道掘削等を実施しています。
- 令和5年度は、小鴨川（生竹地区）において洪水時に増水した河川水を安全に流下できるように河道掘削を実施しました。

■ 令和6年度事業実施箇所



<河道掘削前>

令和6年度事業実施箇所



<河道掘削後>



■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. マイ・タイムラインの作成支援
5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

■ハード対策

6. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- ▶ 天神川水害タイムライン検討会では、出水期でのタイムライン運用を踏まえたアンケート調査を実施し、この結果を踏まえた①タイムライン詳細版の見直し、②タイムライン総括版の見直し、③運用支援システムの改良を実施しています。
- ▶ 令和7年度の出水期前を目途に、令和7年度の運用について説明するための検討会の開催を予定しています。

「いつ」

- ・ 防災行動を行うタイミング(TLレベル毎に発表情報)や状況を整理

「何をするか」

- ・ 行動は、階層別に記載
- ・ 既存の防災計画等と整合性を踏まえて防災行動を整理

「誰が」

- ・ 担当機関の防災行動の役割を表示
- ◎：主体的に行動する機関
- ：支援または協働する機関

多機関連携型タイムラインのイメージ

①詳細版：担当者が詳細な対応を確認できるタイムライン

A3サイズ

天神川水害タイムライン詳細版

②総括版：班長等が俯瞰的に作業の漏れがないかを確認できるタイムライン（水位上昇が早い天神川でも、短時間で最低限実施すべき内容がチェックできる）



③タイムライン運用支援システム：タイムラインに必要な防災情報を集約したシステム

天神川水害タイムライン運用支援システム

タイムライン運用支援システム (実行中)

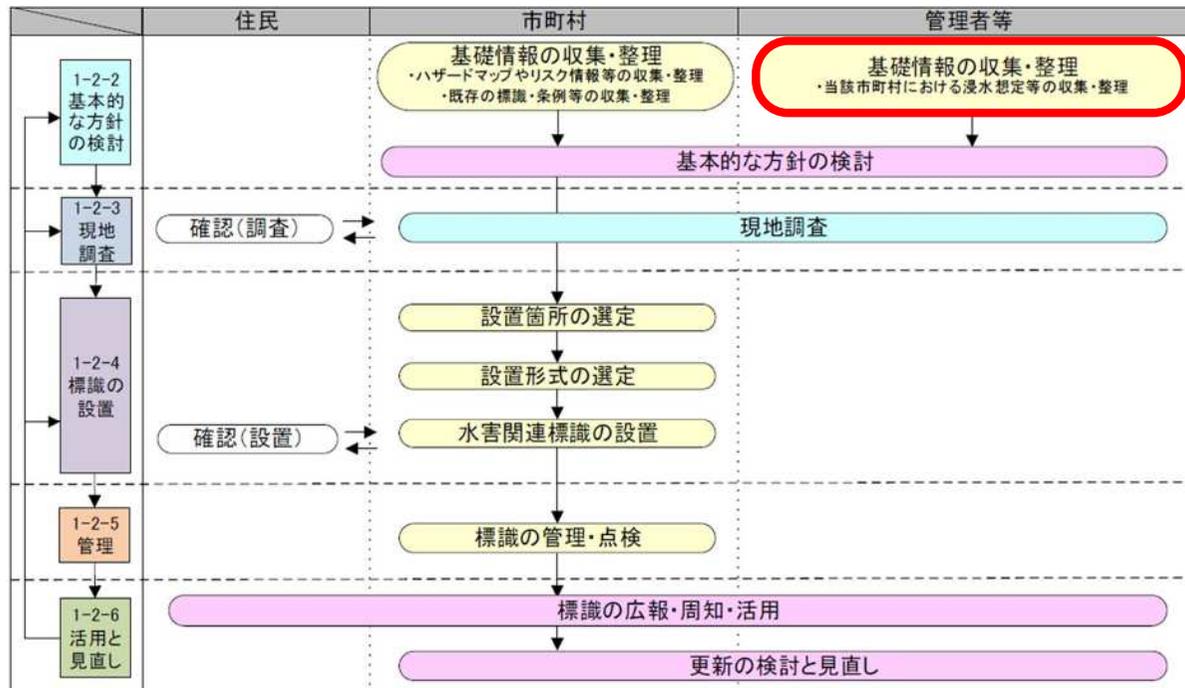
発動していません

タイムラインレベルに関する情報	TL0相当	TL1相当	TL2相当	TL3相当	TL4相当	TL5相当
河川水位	水位状況	+	+	+	+	+
山崩	0.20m	+	+	+	+	+
川崩	1.01m	+	+	+	+	+
川筋崩	0.84m	+	+	+	+	+
三越	2.25m	+	+	+	+	+
崖崩	0.64m	+	+	+	+	+
気象情報	水位状況	+	+	+	+	+
大川注意報	+	+	+	+	+	+
洪水注意報	+	+	+	+	+	+
洪水警報	+	+	+	+	+	+
洪水特別警報	+	+	+	+	+	+
大川情報	+	+	+	+	+	+
大川情報の危険度分布	+	+	+	+	+	+
洪水警報の危険度分布	+	+	+	+	+	+
洪水特別警報の危険度分布	+	+	+	+	+	+

運用支援システム

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- 天神川水系では、住民の防災意識向上や浸水深等の普及を目的に、まるごとまちごとハザードマップの整備を進めています。
- 倉吉河川国道事務所では、天神川流域市町のまるごとまちごとハザードマップ設置を支援するために、依頼があった施設等について、**洪水浸水想定区域の浸水深の確認**等を行っています。
- 倉吉市は、令和2年度よりまるごとまちごとハザードマップの設置を実施しており、令和4年度から自主防災組織による**標識設置に対する補助金制度**を導入しています。令和7年度も、引き続き**補助金制度を活用した標識設置を予定**しています。

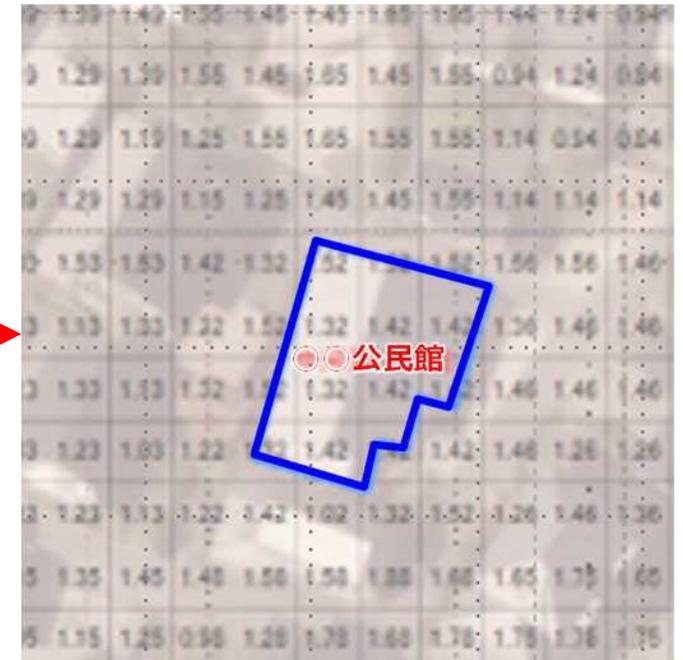


単独実施 : 該当する関係機関がそれぞれ単独で実施する項目

分担実施 : 市町村が管理者等と連携しつつ実施する項目

共同実施 : 関係機関が共同で実施する項目

実施フロー詳細図 (まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き 第2版 P.5)



設置予定箇所の浸水深の確認

3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取り組みが加速しています。
- 天神川流域市町の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成率は高い状況ですが、引き続き未作成の施設の**避難確保計画の作成支援**や**避難確保計画に基づく訓練実施**の支援をお願いします。
- **避難確保計画支援動画及び避難確保計画の作成・活用に関するリーフレット**もご参考ください（次ページ参照）。

事務連絡
令和5年4月7日

北海道庁 河川情報管理官 殿
 北海道庁 地域防災管理官 殿
 各地方庁 地域防災課長 殿
 水災害予報センター長 殿
 水災害対策センター長 殿
 沖縄総合事務局 防災課長 殿
 河川課長 殿

国土交通省水管理・国土保全局
 河川流域課水防企画室 課長補佐
 防災課助正河課室長・火山砂防室 企画専門官

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援資料の周知及び訓練実施の促進について

要配慮者利用施設において、大雨の際に目撃かつ迅速に避難を行うため、水防法及び土砂災害防止法では、市町村の地域防災計画に定められた要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の作成、訓練の実施及びそれらを市町村長に報告することが義務付けられています。

今後、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施を促進するため、避難確保計画の作成や訓練について分かりやすくポイントをまとめたリーフレット及び動画を作成したほか、施設における訓練の実施にあたっての留意事項を取りまとめましたので、合わせて送付する都道府県防災連絡線を管内都道府県に通知し、市町村を通じて施設管理者等に周知を図るとともに、訓練実施を促すようお願いします。

また、河川関係事務所に設置した「災害情報普及支援機」において、原簿・普及活動や技術助言等の支援措置を実施いたします。

【参考資料】
 国土交通省水管理・国土保全局 深田（内線 36439）
 河川流域課水防企画室 課長補佐 津波（内線 56457）
 TEL: 03-5233-8111（代表） FAX: 03-5233-1603
 防災課助正河課室長・火山砂防室 企画専門官 曾島（内線 36152）
 地域対策課長 鈴木（内線 36154）
 TEL: 03-5233-8111（代表） FAX: 03-5233-1610

国土交通省ウェブサイト「要配慮者利用施設の受水対策」
https://www.mlit.go.jp/riverbasin/naic/naigai/jishuho/naic/naic_suibou02.html

避難確保計画に関する事務連絡

別紙

避難確保計画作成支援動画 「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」

○ 避難確保計画を作成する施設管理者等、及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難確保計画の作成又は確認時において、避難の実効性を確保する上で基本となるポイントや注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画。

○ 国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、項目ごとの留意点について分かりやすく解説しています。

URL: <https://youtu.be/Va4O0F33ucs> 【国土交通省YouTube】



【動画の画面例】

**要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・確認のポイント**

令和5年3月
国土交通省水管理・国土保全局
河川流域課・砂防計画課

2. 災害リスク等の増強

水害（浸水、干ばつ）	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
土砂災害（崩壊、土砂流出）	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
津波	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
火山噴火	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
地震	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
暴風	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
大雪	浸水深、浸水継続時間	0分～3分
その他	浸水深、浸水継続時間	0分～3分

5. 避難誘導

避難方法や避難に要する時間を確認

【計画様式】

社会福祉施設
避難確保計画

施設名: ○○○○施設

2023年3月作成

【チェックリスト】

項目	確認事項	確認結果
1. 避難確保計画の作成	避難確保計画が作成されているか	○
2. 避難確保計画の更新	避難確保計画が更新されているか	○
3. 避難確保計画の周知	避難確保計画が関係者等に周知されているか	○
4. 避難確保計画の実施	避難確保計画が実施されているか	○
5. 避難確保計画の点検	避難確保計画が点検されているか	○

避難確保計画支援動画に関する説明資料(参照資料)

3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

5. 防災教育及び訓練の実施に関する事項

- 原則、年に1度以上、防災教育と避難訓練を実施し、計画を見直すことが重要です。
- 避難訓練は、立退き避難や屋内安全確保を実際に行う実地訓練のほか、図面上でシミュレーションを行う訓練なども選択できます。実地訓練の場合は、参加者の負担を考慮して、複数日に分割して実施することもできます。
- 複数の種類の訓練に取り組むことによって、避難の実効性を高めるようにしましょう。
- 訓練後は、参加者全員で訓練の対応を振り返りましょう。振り返りは、以下の4つの観点で議論をすと効果的です。
 - ①何をしようとしたのか? 例) 1時間以内に計画した避難先へ避難すること
 - ②実際には何が起きたのか? 例) 全員の避難に1時間半がかかった
 - ③なぜそうなったのか? 例) 車両数が計画通り手配できなかった
 - ④次回すべきことは何か? 例) 車両数が手配できない場合の協力先を設定する
- 訓練結果は市町村に報告することが「義務」づけられています。必ず報告してください。

■立退き避難訓練



■屋内安全確保訓練



■図上訓練



Point

- ✓ 避難確保計画における避難経路の安全性や避難手段(車両数や手配方法)、避難に要する時間などが適切に避難訓練等で確認しましょう
- ✓ 避難先に食料や必要な資機材が確保されているか確認しましょう

避難確保計画作成・避難訓練の実施が効果を発揮した事例

- 埼玉県川越市の川越キングスガーデンでは、過去の水害経験を踏まえ、洪水に対する避難確保計画を作成しており、毎年、避難訓練を実施していました。
- 令和元年の台風第19号においても、避難確保計画及び避難訓練で得たノウハウを活かして迅速な避難行動をとり、約100人の利用者と職員の全員が無事に避難できました。

【関連ホームページ】(国土交通省)

- ・避難確保計画の作成・活用の手引き
- ・記載様式
- ・チェックリスト等

<https://www.mlit.go.jp/nets/bovuai/main/saigu/saigu/pensuibo/bovuai-gaiwan/saigu02.html>

・避難確保に関するeラーニング教材【動画】



<https://youtu.be/v1MlyW91ow4>

・避難確保計画の作成・活用のポイント【動画】



<https://youtu.be/Vr400F33uc8>

【問い合わせ先】
 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室
 砂防部 砂防計画課
 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 電話 03-5253-8111 (代表)

利用者の円滑かつ迅速な避難のために

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・活用について

「避難確保計画」は、水害や土砂災害に備え、施設利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項を定めた計画です。

1. 基本的な事項・災害リスク

- まずは、通所・入所等の利用形態や建物の階数、施設職員・施設利用者の人数等、自身の施設の特性について確認しましょう。
- 次に、ハザードマップ等を用いて、施設が有する災害リスクを確認しましょう。

洪水	雨水出水
	
家屋倒壊等氾濫想定区域	浸水のおそれがある区域
土砂災害	津波
	
土砂災害(特別)警戒区域	浸水のおそれがある区域
	
	高潮
	浸水のおそれがある区域

このオレンジ色の災害は、家屋倒壊・流失(家ごと流される)の危険があります!

- Point**
- ✓ 災害リスクは一つとは限りません。すべての災害リスクを把握し、災害に備えましょう
 - ✓ ハザードマップは、市町村が配布しているほか、市町村のホームページ等で確認できます
 - ✓ 国土交通省ハザードマップポータルサイト(<https://disaportal.gsi.go.jp/>)にある「わかまちハザードマップ」や「重ねるハザードマップ」もご利用ください

2. 防災体制に関する事項

- 限られた時間で迅速かつ確実に施設利用者を避難させるためには、施設職員の役割分担を適切に定めておくことが重要です。
- また、情報収集や情報伝達は、初動体制を確保するために重要であり、収集する内容やその手法、伝達する内容と伝達先等をあらかじめ定めておくことが有効です。



- Point**
- ✓ 夜間や休日など、職員が不在・参加が難しい場合も想定した役割分担を検討しましょう
 - ✓ 必要に応じて、地域住民や利用者家族等の避難支援協力者を確保することも重要です

3. 避難場所に関する事項

- 確実な避難のためには、災害の種類に応じた避難先を定めておくことが重要です。
- 避難方法は、主に「立退き避難」、「屋内安全確保」があります。
- 不測の事態も想定して、避難先は複数の場所を選定しておきましょう。

立退き避難：災害リスクのある施設を離れ、施設外の避難先に避難することを言います。避難先は、系列の施設や他の類似施設、市町村が指定する指定(福祉)避難所、指定緊急避難場所等があります。

屋内安全確保：施設に災害リスクがあっても、浸水深より高い階に移動するなどによって、施設利用者の安全を確保できる場合は、施設内に留まって避難することもできます。ただし、家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、津波のおそれがある区域の施設は、建物の倒壊等の危険があるため、原則、屋内安全確保を選択できません。



- Point**
- ✓ 避難先は、利用者のケアなどの必要な対応が可能であるか等を確認しましょう
 - ✓ 安全で確実な避難ルートを設定しましょう
 - ✓ 「屋内安全確保」を行う場合は、長時間の浸水に対応するための水や食料、医薬品等の備蓄品等を確保しましょう

4. 避難のタイミングに関する事項

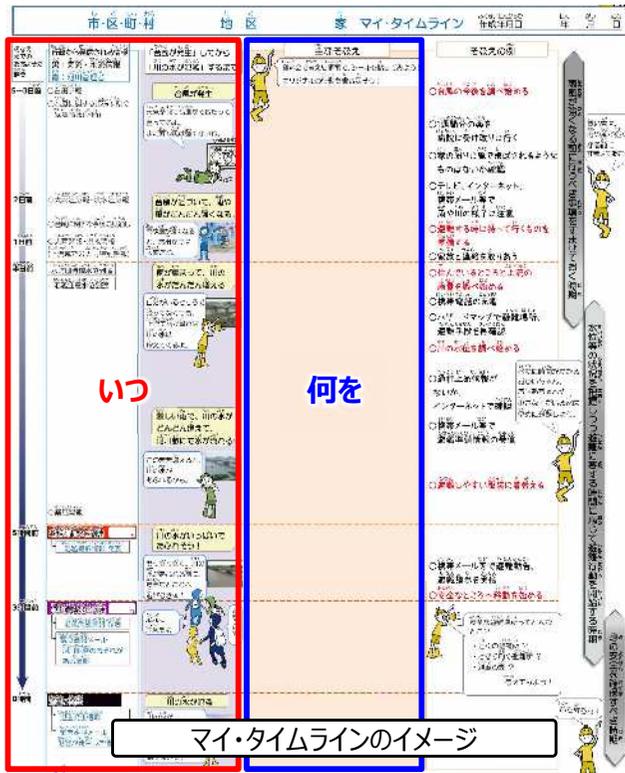
- 避難開始は、原則として市町村から警戒レベル3高齢者等避難が発令された時です。
- 通所型の施設の場合は、事前休業を判断することが利用者の安全確保につながります。

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報等	早期注意情報(早期の避難)	大雨注意報 洪水注意報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
施設の行動	情報収集	●日没までの避難完了 ●明日の休業判断	避難開始	避難完了	

- Point**
- ✓ 避難完了までに時間が必要な場合は、「警戒レベル3高齢者等避難」の発令にとらわれず、早めの避難を開始しましょう
 - ✓ 夜間の避難は危険を伴うことから、夜間に災害が発生するおそれがある場合には、日没までに避難を完了するようにしましょう

4. マイ・タイムラインの作成支援

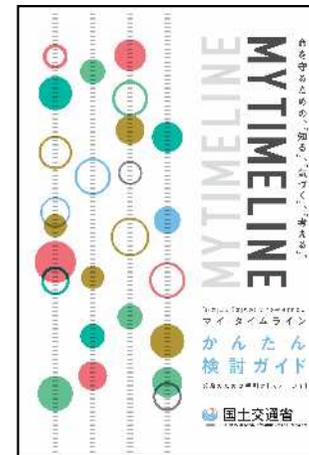
- マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したものです。
- マイ・タイムラインの作成支援のためのツールとして、「逃げキッド」や「マイ・タイムラインかんたん検討ガイド」、「マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方」などを国土交通省HPで確認可能です。



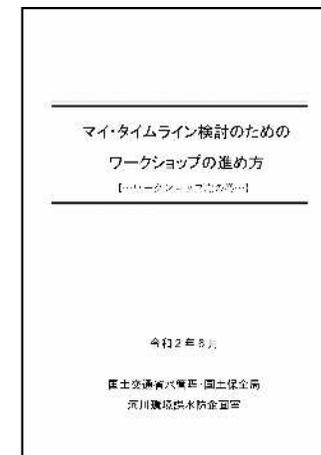
マイ・タイムライン作成支援のためのツール



逃げキッド



マイ・タイムラインかんたん検討ガイド



マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方



逃げキッドを活用したタイムラインの作成方法解説動(YouTube)



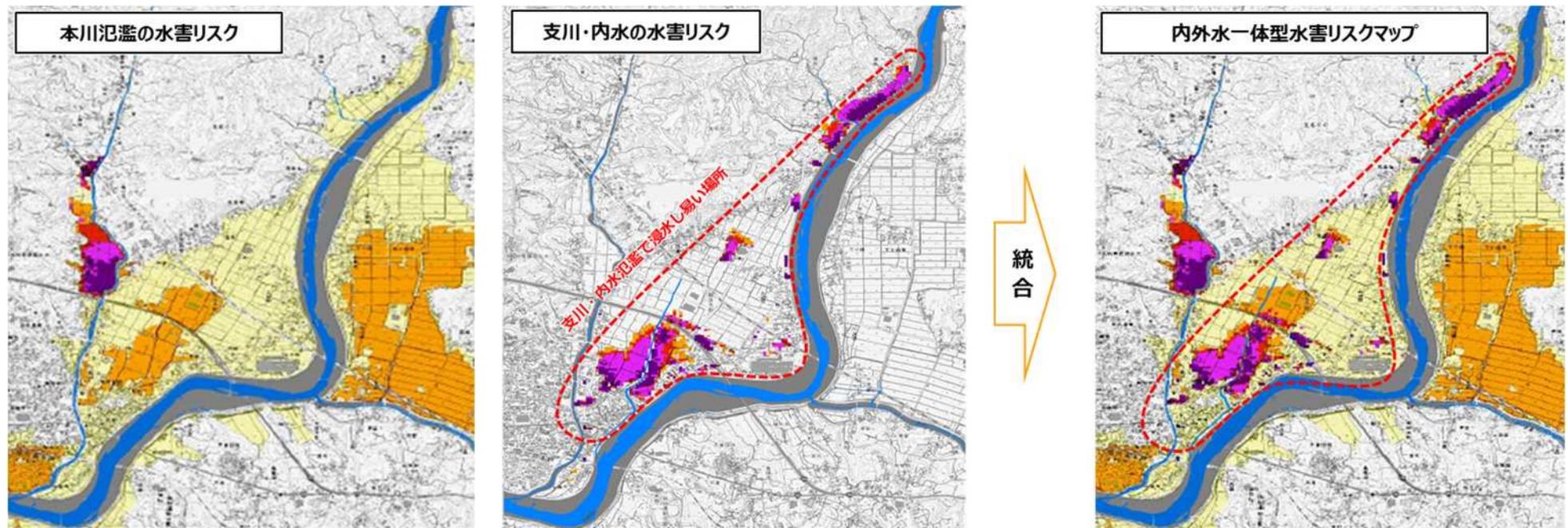
動画：岡谷さんのマイ・タイムライン
(<https://www.youtube.com/watch?v=5RgYuFgeJoo>)

要配慮者マイ・タイムライン

5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

- 現在公表されている洪水浸水想定区域図は、一般的に大河川・中小河川・下水道等の管理者別に作成・提供されており、それぞれが対象としている降雨規模等が異なることから、防災まちづくりの検討や避難検討で必要となる場所ごとのリスク情報を得るうえで十分とはいえない場合があります。

→沿川自治体が水害リスクを評価し、**中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり、田んぼダム等)の検討や避難検討(本川氾濫前に支川・内水氾濫により避難し難くなる場所の確認等)に活用**できるように、今後河川管理者が**内外水一体型水害リスクマップを作成する。河川毎ではなく支川や内水(下水道等)も考慮し、浸水しやすい地域や氾濫シナリオなどを検討し、自治体へ水害リスクを情報提供**していきます。



内外水一体型水害リスクマップのイメージ

6. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るために、これまでの河川管理者等による対策でなく、流域のあらゆる関係者の協働によるハード・ソフト一体の水災害対策として「**流域治水**」を推進しています。
- 天神川水系における流域治水の一環として、**小鴨川(生竹地区)**において、**河道掘削**等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

■ 事業箇所

鳥取県東伯郡北栄町北条地先

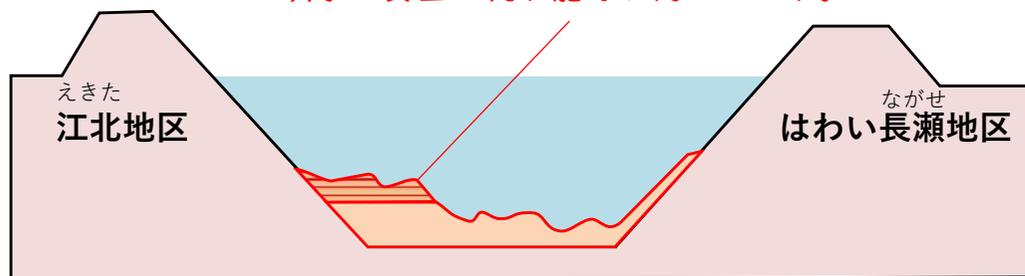
地区名：鳥取県東伯郡北栄町江北及び湯梨浜町
はわい長瀬

■ 期待される整備効果

河道掘削を実施することで、戦後最大の洪水となる伊勢湾台風(昭和34年9月)が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害の防止が図られます。

【整備イメージ】

河川の断面を広げることにより、
洪水を安全に流す能力が向上します。



■ 令和7年度 事業実施箇所



日野川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会幹事会 説明資料

1. 令和6年度の主な取組内容……………P44
 2. 令和7年度の主な取組予定……………P55
- 別紙:各取組項目におけるスケジュール

第14回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

1. 令和6年度の主な取組内容

・日野川水防演習に伴い米子市防災訓練を計画、防災意識啓発のため様々な取組を実施

<訓練内容等>

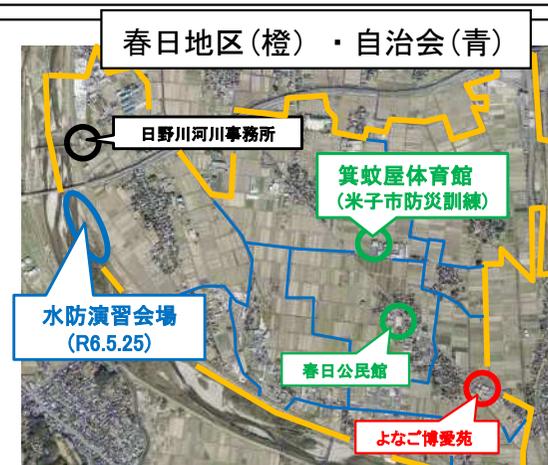
- 水害を想定した自治会ごとでの避難行動を確認（タイムライン確認）。
- 参集施設での講習、物資実地訓練等を実施した。
- 社会福祉法人でのタイムライン作成に向け階上垂直避難訓練を行った。
- 訓練参加者 米子市春日地区10自治会参加、住民及び関係機関含み200名



避難者、地元神社に参集



要配慮者施設での避難誘導
(社)よなご博愛苑(米子市一部)



想定避難先体育館での資機材研修
(ダンボールベッド・プライバシーテント設営、煙体験・ほか資機材利用紹介)



訓練参加者への防災講習

・伯耆町の取組

【平時の取り組み】

- 出水期の事前啓発活動（広報誌、町ケーブルテレビ、防災無線 等）
- 防災講演会の実施…R6年度実績 1回（食生活改善推進委員）
- 備蓄品の整備

【住民の避難に関する取組】

- 避難についての知識やハザードマップの活用方法についてケーブルテレビにて周知
- ペット同行避難について避難所選定等の検討を開始

【防災訓練等】

- 日野川総合水防演習への参加（消防団）
- 地震を想定とした避難訓練の実施 ※R6年度は荒天のため中止

備蓄品の整備

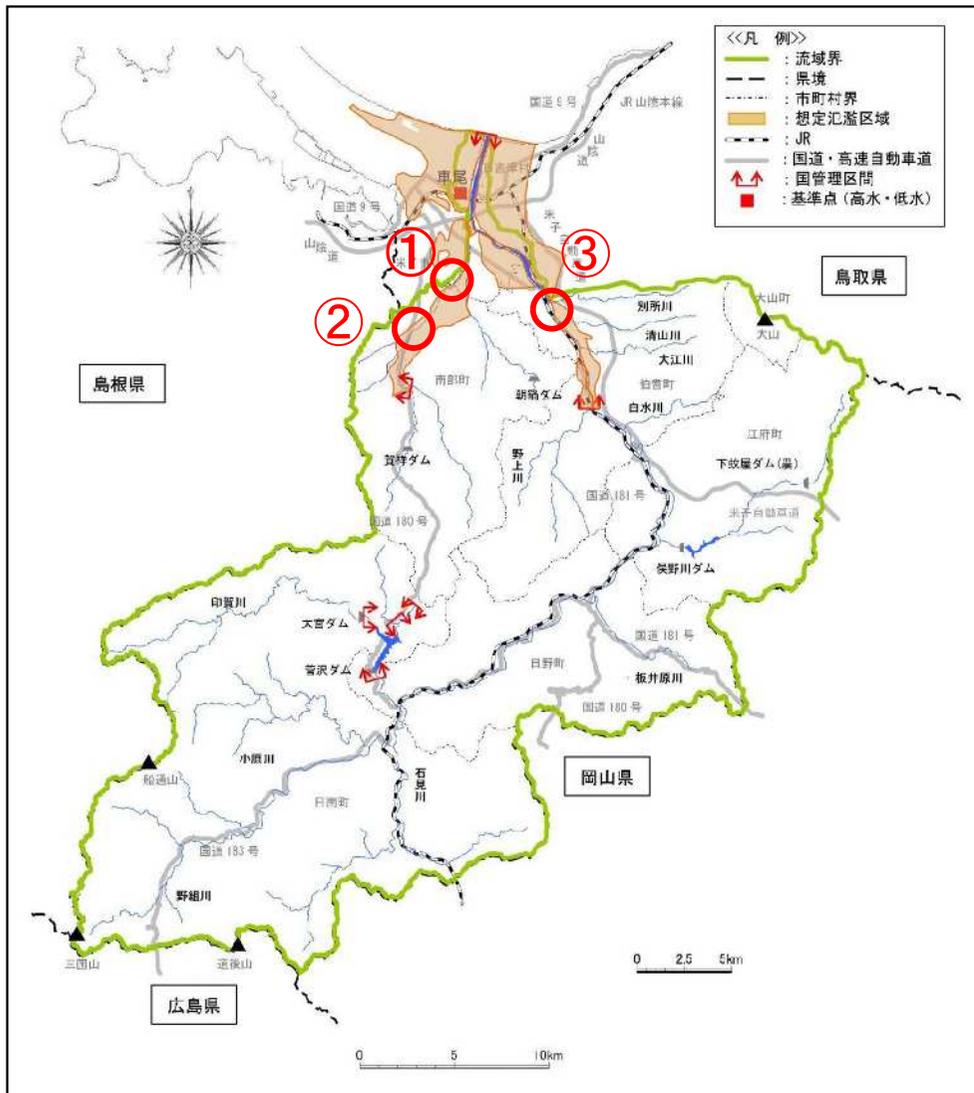


日野川総合水防演習



・河川管理施設の整備

法勝寺川の大袋地区及び福成地区と日野川の吉定地区にて、河川管理施設の整備を実施しました。



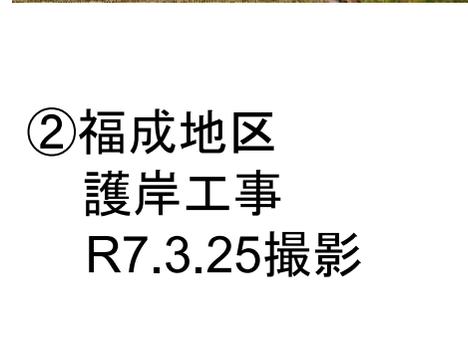
日野川流域 全域図

出典：国土交通省公式HPより

対策後



①大袋地区
堤防工事
R7.3.21撮影



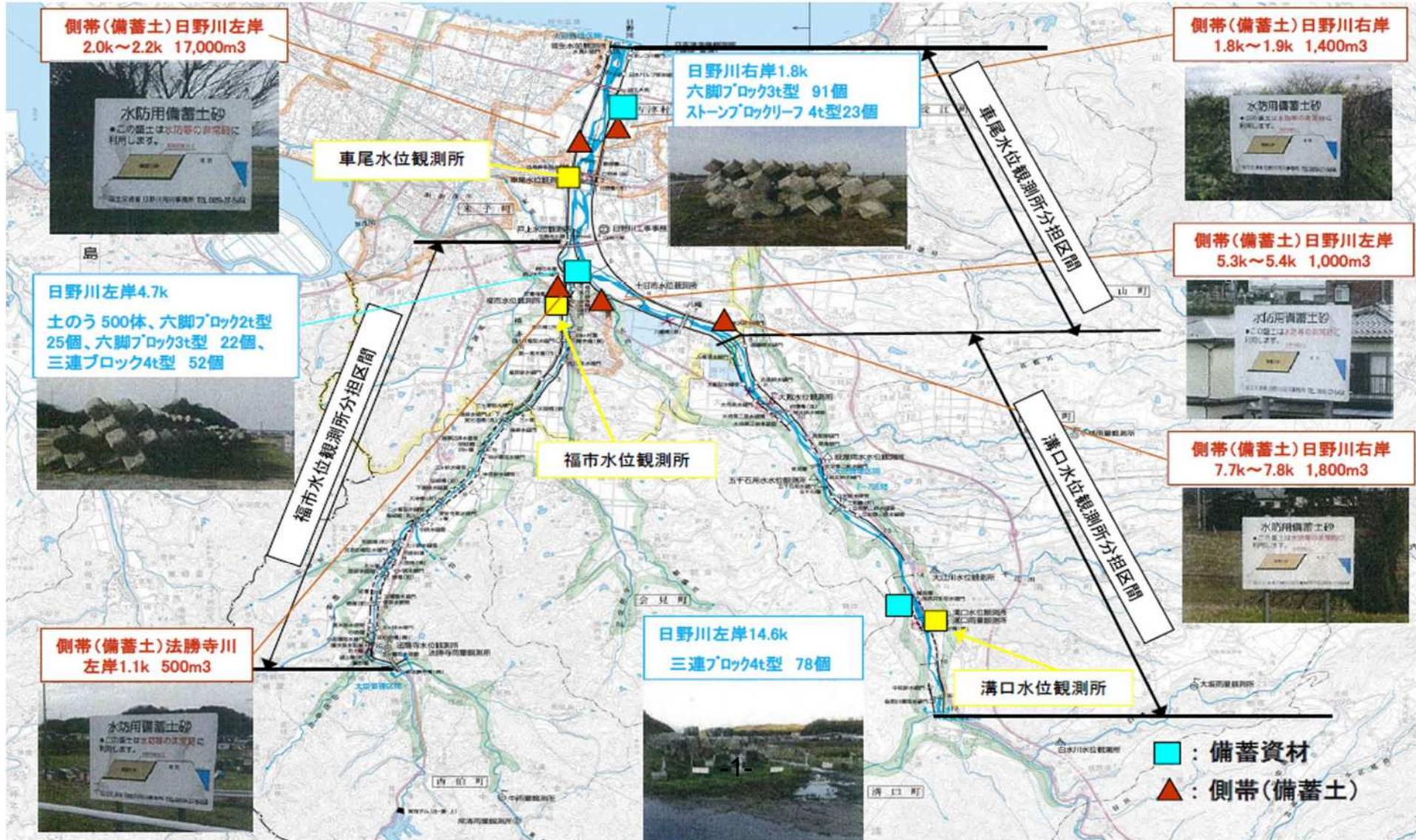
②福成地区
護岸工事
R7.3.25撮影



③吉定地区
護岸工事
R7.3.21撮影

・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。



・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄資材及び備蓄土一覽表（R6年4月現在）

日野川河川事務所 非常時 備蓄資材 調書（日野川管理室 資材倉庫）

資材名称	規格	備蓄数量				単位	備蓄場所
		ト振動	数量	色	計		
土のう袋		20400		20400	袋	25kg	
土のう袋	100kg	800		800	袋	25kg	
大巻土のう		20		20	袋	1kgパック	
土のうのう	100kg	280		280	袋	1kgパック	
オートブロック	5.1m×0.10	2		2	基	基	
ビニールシート	5.7m×2.7m	30		30	枚	枚	
ビニールシート	5.4m×3.6m	20		20	枚	枚	
砂袋	高さ1.8m 長さ1.2m	190		190	本	本	
砂袋	高さ1.8m 長さ1.8m	80		80	本	本	
二子砂		12		12	巻	巻	
砂袋	100kg規格タイプ	400		400	m	m	
鍬		2		2	打	打	
鉋		4		4	打	打	
ハンチ		5		5	打	打	
アンブルカッター		6		6	打	打	
シノ		6		6	打	打	
タコ		2		2	本	本	
スコップ		88		88	本	本	
鍬		6		6	打	打	
スハンマー		3		3	打	打	
スリヤ		6		6	打	打	
びん		7		7	打	打	
二輪車		5		5	台	台	
コンクリート		6		6	打	打	
トロッポ		1		1	打	打	
ひしやく		7		7	打	打	
水龍マット		2		2	枚	枚	
水龍マット		2		2	枚	枚	
オイルフェンス	オスロCB-A	4	15	19	本	20m/本	
オイルフェンス	オスロCB-A	4		4	本	20m/本	
オイルフェンス	スライムシールド(10m×2本)	11	6	17	枚	20m/枚	
オイルマット	スライムシールド(20m)	4		4	枚	20m/枚	
オイルマット	スライムシールド(10m)	1		1	枚	10m/枚	
オイルマット	スライムシールド(22枚(一連))		6	6	箱	箱	
オイルマット	モリの木炭(20kg入り)	20		20	箱	20kg/箱	
オイルマット	タフネックスオイルブロッカー-BL-50	3	9	12	本	100kg/本	
オイルマット	タフネックスオイルブロッカー-BL-50	27		27	箱	50kg/箱	
オイルマット	タフネックスオイルブロッカー-BL-50		1	1	本	100kg/本	
オイルマット	オイルブロッカーマットタイプ	1		1	箱	12kg/箱	
ガレキ	マイティガレキ-MG-2000	2		2	打	打	
ガレキ	マイティガレキ-MG-1650	2		2	打	打	
防凍剤	オイスルポンシールドタイプ	6		6	打	打	
防凍剤	SC-C00	3		3	打	打	
防凍剤	See Best Winter	5		5	打	打	
ガレキ		1		1	台	台	

■備蓄土

位置(地先名)	距離標(km)	完成年度	整備内容	関係市町村
日野川 右岸(富吉地先)	1.8 ~ 1.9	S63	L=100m, B=9m, A=900m ² , V=1,400m ³	日吉津村
日野川 左岸(皆生地先)	2.0 ~ 2.2	H2	L=200m, B=20m, A=4,000m ² , V=17,000m ³	米子市
日野川 左岸(福市地先)	5.3 ~ 5.4	S62	L=80m, B=7m, A=560m ² , V=1,000m ³	米子市
日野川 右岸(八幡地先)	7.7 ~ 7.8	H元	L=120m, B=6m, A=720m ² , V=1,800m ³	米子市
法勝寺川 左岸(宗像地先)	1.1	H元	L=50m, B=6m, A=300m ² , V=500m ³	米子市

■ブロック

位置(地先名)	距離標(km)	備蓄内容
日野川 右岸(日吉津村富吉地先)	1.8	六脚ブロック3t型(3.41t) 91個、ストーンブロッカー74t型(3.6t) 23個
日野川 左岸(米子市福市地先)	4.7	土のう 500体、六脚ブロック2t型(1.98t) 25個、六脚ブロック3t型(3.41t) 22個、三連ブロック4t型(3.89t) 52個
日野川 左岸(伯耆町宇代地先)	14.6	三連ブロック4t型(3.89t) 78個

第10回 日野川水害タイムライン検討会

令和6年6月27日(木)

国土交通省 日野川河川事務所 (10:00~12:00)

-次第-

- 1.開会挨拶
- 2.令和6年出水期の見通し
- 3.日野川水害タイムラインの概要
- 4.日野川水害タイムラインの運用について
- 5.令和5年台風第7号を踏まえた佐治川流域安全確保に関する取組
- 6.日野川水害タイムラインの読合せ
- 7.令和5年度出水期の運用に向けた留意事項
- 8.連絡事項
- 9.質疑応答
- 10.講評

令和6年度の出水対応に向けて、タイムラインの概要や防災対応の全体像の確認を目的とした第10回検討会を開催しました。

◆参加機関 (22機関)

米子市	防災安全課、道路整備課、 長寿社会課、水道局	福祉施設	なんぶ幸朋苑、米子ワークホーム
南都可	総務課、健康福祉課	交通機関	JR西日本株
日吉津村	総務課	ライフライン	中国電力ネットワーク(株)、 米子ガス(株)
鳥取県	河川課、警察本部、 米子警察署、鳥坂警察署、 西部広域行政管理組合消防局	通信インフラ	NTT西日本株
防衛省	陸上自衛隊	報道機関	山陰中央テレビジョン放送(株)
気象庁	鳥取地方気象台	国土交通省	日野川河川事務所

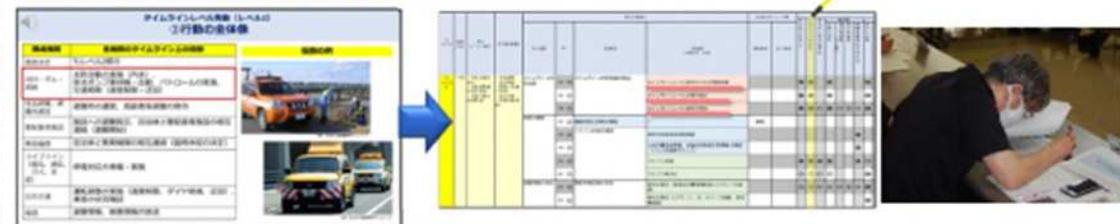
◆タイムラインの概要、運用方法の確認

・今年度から新しくタイムラインの担当になった方もいることを踏まえて、タイムラインの概要や運用方法、活用方法等の全体像を説明。



◆タイムラインの読み合せ

・各タイムラインレベルの状況を動画で流し、各機関の行動や発信される情報をレベル毎(レベル準備、注意、1~5)に確認する読み合せを実施。



<各タイムラインレベルでイメージする状況> <タイムライン詳細版から行動や情報を確認>

◆鳥取地方気象台、鳥取県河川課からの情報提供

- ・鳥取地方気象台より、令和6年度の出水期の天候見通し、線状降水帯による大雨の新たな運用について説明。
- ・鳥取県河川課より、令和5年台風第7号に係る気象概況やダム状況、地元との意見交換で出された課題を踏まえた対応内容について説明。



<鳥取地方気象台からの情報提供資料>



<鳥取県河川課からの情報提供資料>

◆今後の予定に関する連絡事項

- ・流域自治体の防災情報を一元的に示した「防災情報一元画面」について説明。(8月より試行予定)
- ・タイムラインの活用方法や情報提供システムの操作を説明する「ウェビナー」の開催を案内。

◆講評

▶タイムライン発動時の行動を事前に把握することが重要である。まずは、タイムライン発動時のメールを事務局からテスト配信し、各機関には受信後の対応を確認していただきたい。
▶また、タイムライン解説動画を用いたタイムラインの理解向上や、情報提供システムの操作方法の確認等を平時から行っていただきたい。



鳥取大学 三輪教授

◆まとめ

- ・令和6年度の出水期の見通しや令和5年台風第7号による鳥取市での被害状況を共有し、日野川で出水が起きた場合の対応を関係機関で確認した。
- ・タイムラインの目標である「逃げ遅れゼロ」の達成に向けて、引き続き関係機関で連携して取り組む。

第11回 日野川水害タイムライン検討会

令和6年12月4日(水)

国土交通省 日野川河川事務所 (10:00~11:40)

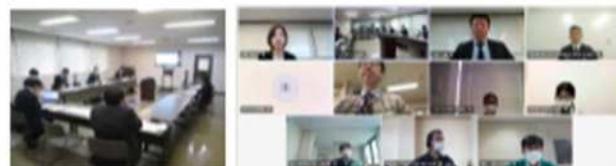
-次第-

1. 開会挨拶
2. 令和6年度の振り返り
3. 事前アンケート結果
4. タイムラインの改善に向けた意見交換
5. 連絡事項
6. 質疑応答
7. 講評
8. 閉会

令和6年度の出水対応を振り返り、タイムラインをブラッシュアップすることを目的として、第11回検討会を開催しました。

◆参加機関 (10機関)

米子市	防災安全課、上下水道局
鳥取県	河川課、西部広域行政管理局消防局
福祉施設	なんぶ幸朋苑、よなご大平園
ライフライン	中国電力ネットワーク㈱
通信インフラ	NTT西日本㈱
気象庁	鳥取地方气象台
国土交通省	日野川河川事務所



<検討会の様子>

◆令和6年度出水期の振り返り

- ・日野川河川事務所より、令和6年度出水期におけるタイムライン発動状況を説明した。
- ・鳥取地方气象台より、日野川で今年一番の大雨となった11/2の大雨の際の気象状況や、今後の気候変動による影響の可能性について説明した。

<タイムラインの発動状況>

	期間	要因	レベル到達
①	8/23~9/2	台風10号	レベル2
②	11/1~11/3	台風から変わった低気圧や前線の影響	レベル2

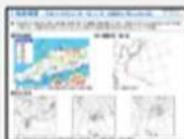
◆タイムラインの改善に向けた意見交換

- ・令和6年度の取組状況や出水期振り返りアンケート結果を踏まえて、タイムラインの改善に向けた意見交換を実施した。

令和6年度の取組状況

危機感共有定例会

- ・台風期の各月に1回、顔の見える関係作りや出水に対する危機感共有を目的に定例開催。



ウェビナー

- ・タイムラインについて平時から理解を深めることを目的として台風期の頭に開催。



情報提供システム流域一元画面

- ・流域全体の状況を俯瞰的かつ一元的に把握することを目的として台風期に試行運用。



設問	アンケート結果まとめ	アンケート結果を踏まえた意見交換テーマ	意見交換概要
今年度の出水対応	✓ 出水期中の台風10号では、実対応が必要な状況にはならなかった。	✓ 出水期後に大雨(11/1~11/3)が発生したため、当時の出水対応状況や課題について意見交換	✓ 当時は、水防警報や高齢者等避難が発表される状況。 ✓ レベル到達の見通しがメールで共有されると事前対応に役立つ。
タイムライン活用状況	✓ 多くの機関が外出の発動・移行時のメールが役立ったと回答した一方で、出水時はメールが埋もれるとの意見。	✓ メールが埋もれるとの意見を踏まえて、メールで受信した情報の整理や、発信側の工夫点を共有	✓ 外出のメールは状況把握の参考として活用。 ✓ メールでは、件名へのレベル表記等、視覚的に状況を把握できるような工夫。
効果的な運用に向けた取組	✓ 危機感共有定例会、ウェビナーは参加機関の7~8割が役立ったと回答。 ✓ 日程やWeb会議の都合で参加できなかったとの機関もあり。	✓ 有効性が確認できた危機感共有定例会、ウェビナーを令和7年度以降も継続的に運用するため、より効果的な開催方法を意見交換	✓ Web会議でカメラを全機関オンにして、顔の見える関係が構築できると有効。 ✓ 意見交換を確実にするため、各機関からの情報提供テーマを設けることを提案。
情報提供システム	✓ 約4割の機関が利用し、役立ったと回答した一方で、流域一元画面のことは知らなかったとの意見。	✓ 有効性が確認できた流域一元画面の活用を促進するため、台風10号における再現画面を踏まえて意見交換	✓ 今年度の出水期は使う場面が無かったが、流域の情報を一元的に閲覧できて有効。

◆講評

- 振り返りアンケートの結果を踏まえて、次の改善に活かすことができたと思う。
- 危機感共有定例会やウェビナーの効果が確認出来て良かった。ご意見を踏まえて改善し、来年度も継続していただきたい。
- 情報共有については、発信側・受信側それぞれが効率的な方法を模索してほしい。



鳥取大学 三橋 三兵衛

◆まとめ

- ・令和7年度により使いやすいタイムラインへと改善するため、各機関におけるタイムラインに関する取組状況や改善要望を抽出した。
- ・タイムラインや情報提供システムの更なる活用に向けてタイムライン事務局で改善策を整理し、引き続きブラッシュアップを図る。

・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練の実施

水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、「流域治水」への転換の観点を踏まえ、幅広い主体が参加する実践的な訓練により、地域社会全体における防災知識の普及、防災意識の向上、災害対処能力の更なる向上を図りました。

- 開催日時：令和6年5月25日(土) 9:30～11:45
- 参加機関：38機関
- 実施場所：日野川右岸(鳥取県米子市古豊千(よなごしこほうち)地先)
- 実施した演習：水防工法訓練、水防工法体験、出水時情報提供訓練、緊急物資輸送訓練、孤立者救助訓練 他
- 参加者：齊藤国土交通省大臣、平井鳥取県知事、伊木米子市長、伊達境港市長、中田日吉津村長、竹口大山町長、陶山南部町長、森安伯耆町長、埴田日野町長、白石江府町長、赤澤議員、湯原議員、舞立議員、藤井議員をはじめ約1,000人(来賓及び一般見学者含む)

■ 開会式



齊藤大臣挨拶 平井知事挨拶 開会式の様子

■ 閉会式



本田河川部長 中崎整備局長から米子市消防団 伊木米子市長
講評 副団長に感謝状の授与 挨拶

■ 水防工法訓練



水防団による水防訓練 (改良積み土のう工法)



王子製紙(株)と一般参加者による水防工法体験

■ 関係機関・地域との連携による総合的な訓練



日野川河川事務所長から 米子市長へのホットライン 警察による情報収集と孤立者救助訓練 消防による孤立者救助訓練

米子市水道局による 水道管補修訓練 米子市の災害協定に基づく緊急物資輸送訓練 (米子市・徳島県阿南市・イオンリテール(株)・自衛隊) JAFと倉吉河川国道事務所による放置車両撤去訓練

■ 展示コーナー



降雨体験



砂防模型説明

・小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充

- 令和6年5月30日(木) 米子市立車尾（くずも）小学校において、小学4年生の児童へ向けた出前講座「防災環境学習」を実施しました。
- 今回の学習では、日野川の自然環境について学ぶとともに、車尾小学校区全域が浸水域にあることから、ハザードマップを使って日野川・法勝寺川が氾濫した際の浸水状況や避難先を確認し、「逃げる」ことが重要だと理解してもらいました。
- 児童からは、避難の時にどんなことに注意して逃げるといいか？日野川にはどんな外来種の生物がいるか？などの多くの質問があり、熱心さが伝わってきました。

講義の様子



・排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

- 「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に、災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。

災害対策機械訓練状況(令和6年6月19日)

照明車訓練(令和6年度)



排水ポンプ車訓練(令和6年度)



2. 令和7年度の主な取組予定

1. 水防資機材等の整備とその情報共有
2. 日野川水害タイムライン検討会
3. 避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練の実施
4. 気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充
5. プッシュ型の洪水予報等の情報発信
6. 排水ポンプ車の操作訓練等の実施及び参加
7. 小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
8. 住民を対象とした、出前講座・水防に係る説明会の実施

減災のための目標

第2期（R4～R8）

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特徴を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- ②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
- ③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する。

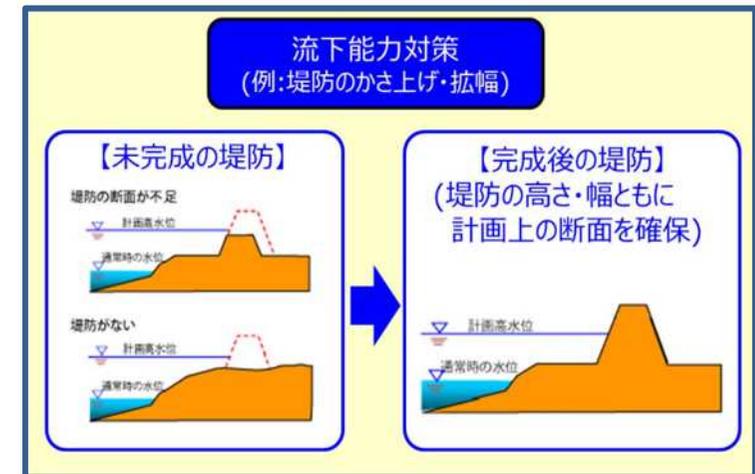
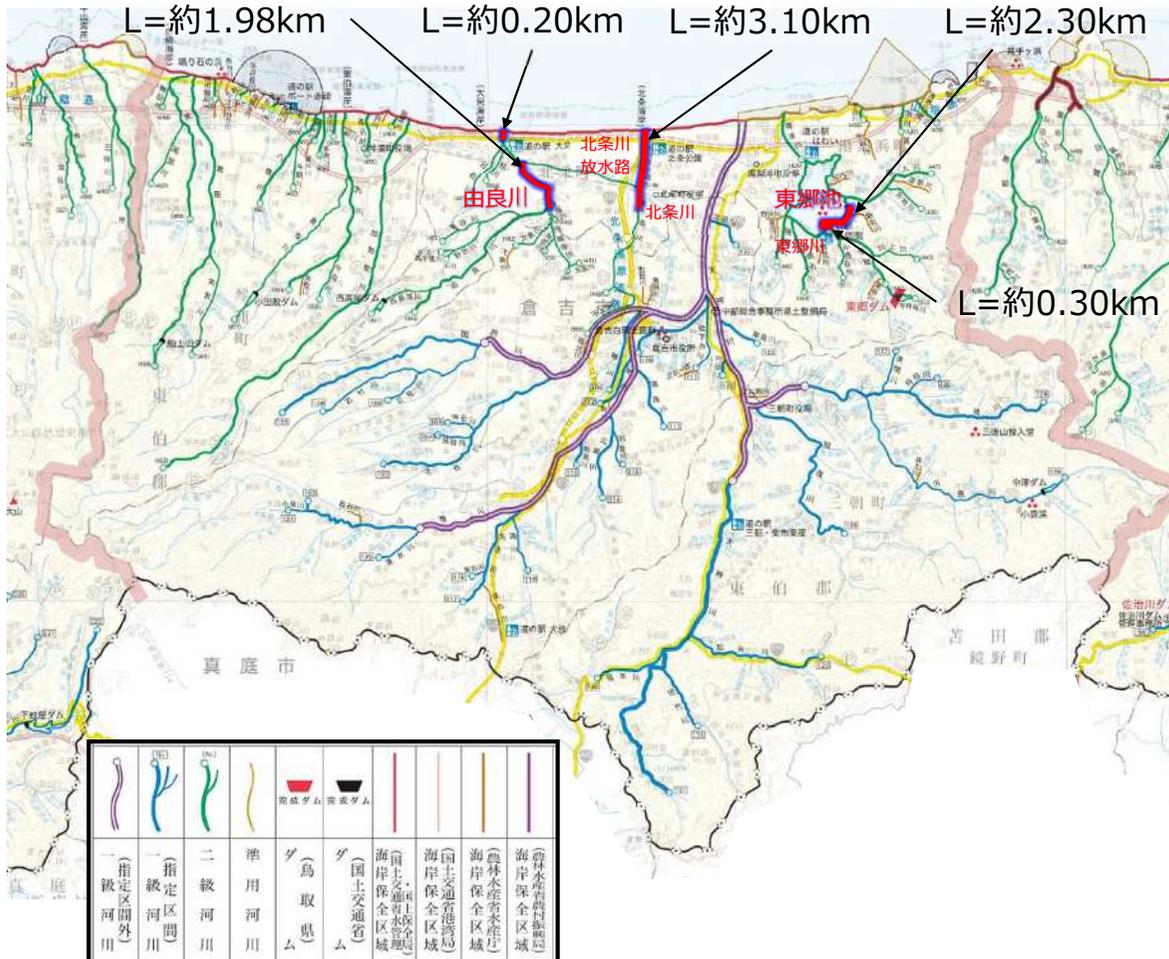
取組 1 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進

継続実施

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

天神川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

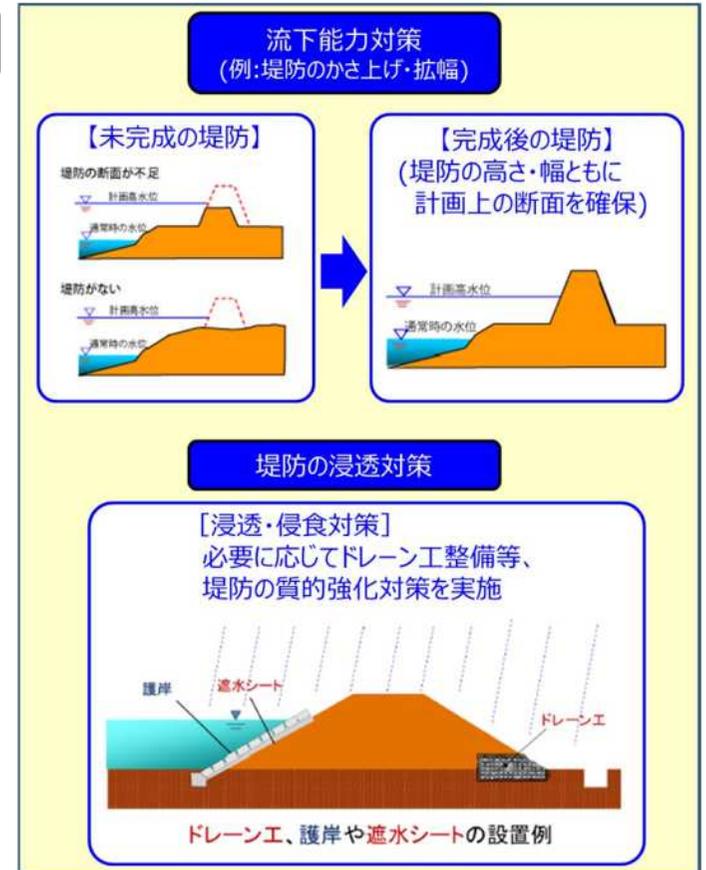
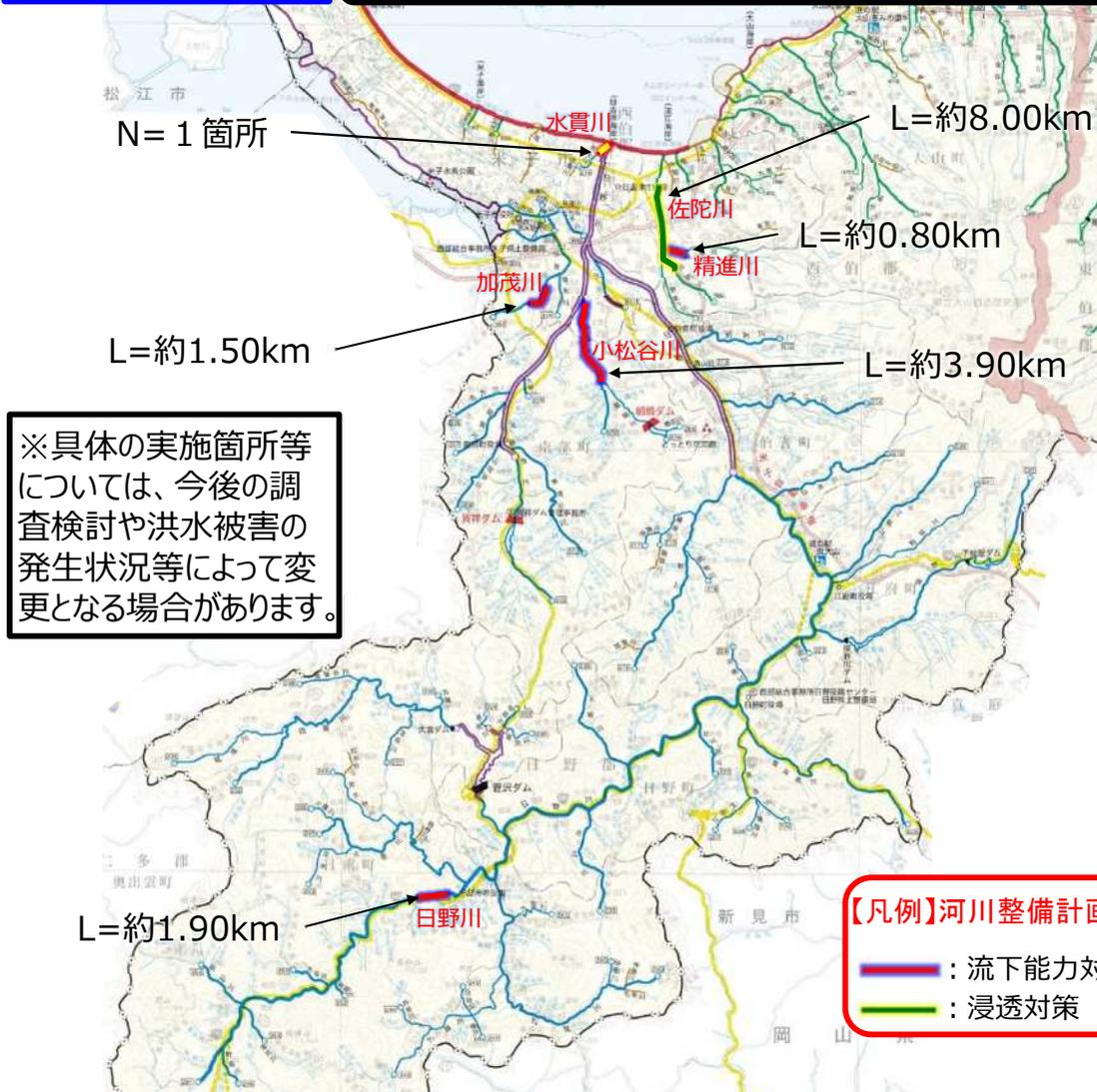
- 流下能力対策
- 浸透対策
- 洪水処理対策

- 東郷池の南岸における流下能力対策工事を重点的に実施中。
- 由良川(北栄町瀬戸)における流下能力対策を検討中。

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

日野川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

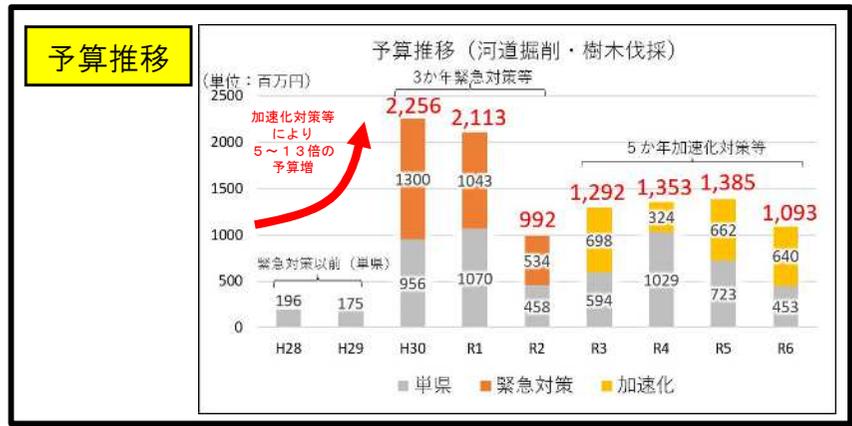
- 流下能力対策
- 洪水処理対策
- 浸透対策

一級河川 (指定区間外)	二級河川 (指定区間)	準用河川	ダ (鳥取県)	ダ (国土交通省)	海岸保全区域 (国土・国土保存)	海岸保全区域 (国土交通省)	海岸保全区域 (農林水産省)	海岸保全区域 (農林水産省)	海岸保全区域 (農林水産省)	海岸保全区域 (農林水産省)

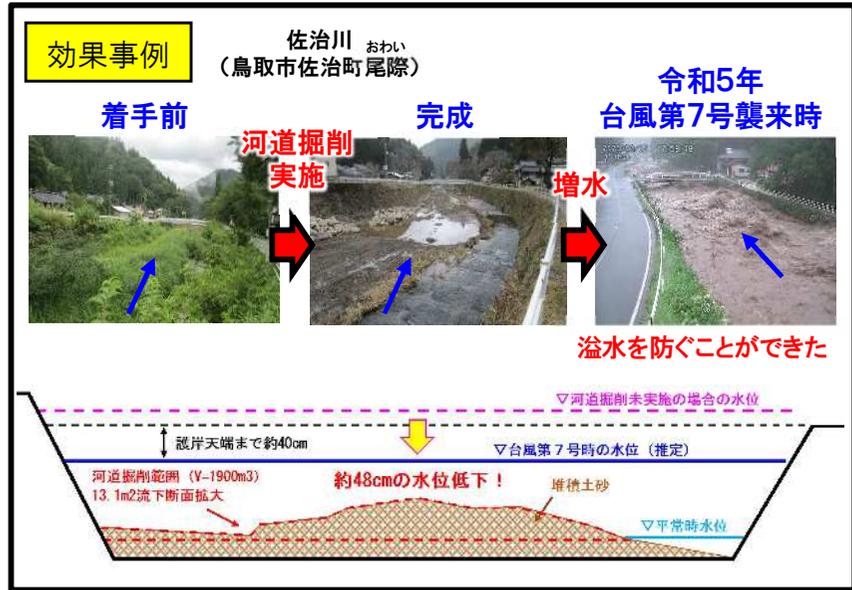
○小松谷川(米子市青木付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、令和5年**台風第7号**において、**人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果**。

【令和6年度(補正)実施予定】八東川(八頭町)、佐陀川(米子市河岡～福万)、日野川(日野町中菅)22箇所
【令和7年度実施予定】 小田川(岩美町院内)、三倉川(若桜町若桜)、玉川(宮川町)、 34箇所



- ### ＜実施要件：5か年加速化対策＞ (R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)
- ①流域治水 (事前防災) の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
 - ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐開・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲 等
-
- ### ＜実施要件：緊急浚渫事業債＞ (R2年度～R11年度)
- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要



取組3 「鳥取方式」浸水リスク図の公表(済)及び 中小河川浸水想定(想定最大規模)について

R1完了・継続実施

県

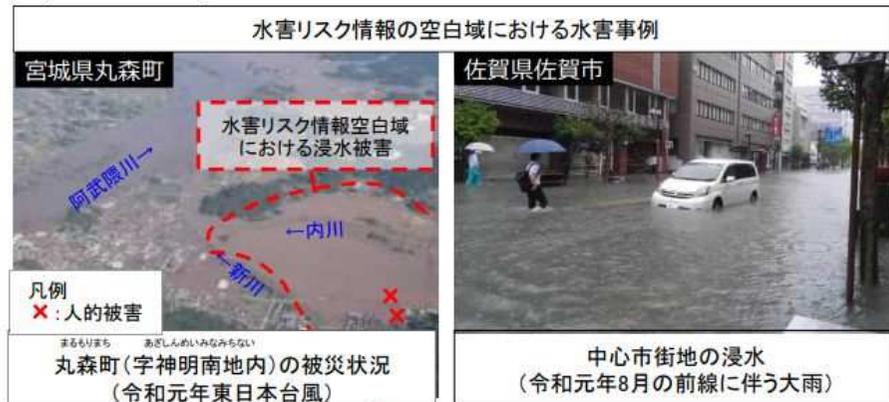
水位周知河川等以外の県管理河川を対象に、県民皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、「鳥取方式」浸水リスク図※1を公表済み。

※1 シミュレーションの対象降雨は計画規模(1/50 以下は一律 1/50) とし簡易的に算出
また、令和3年の水防法改正により、水害リスク情報の空白地帯解消を目的に、**想定最大規模での浸水想定区域図及びハザードマップの公表が全ての一級・二級河川や下水道に拡大された。**
浸水想定は令和7年度まで、ハザードマップは令和8年度までの完了を目標※2としている。

※2 令和5年度から浸水想定作成のためのシステムを構築中であり、令和7年度に浸水想定区域指定予定。

■水害リスク情報の空白域において浸水被害が多発

・令和元年東日本台風では、堤防が決壊した71河川のうち43河川(約6割)、内水氾濫による浸水被害が発生した135市区町村のうち126市区町村(約9割)が水害リスク情報の空白域。



■水防法を改正し、浸水想定区域の指定対象を拡大

・河川(洪水浸水想定区域)では約15,000河川、下水道(雨水出水浸水想定区域)では約1,000団体が新たに指定対象として追加。



	浸水想定区域図	ハザードマップ
河川(洪水)	令和7年度までに完了※	令和8年度までに完了目標
下水道(雨水出水)	令和7年度までに約800団体完了※	浸水想定区域図作成後速やかに作成

※ 第5次社会資本整備重点計画KPIIに位置付け

支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士

【R6実績】(内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎、災害情報の取得、まちあるきのポイント
(参加者数)62名(開催日・場所)6/3倉吉体育文化会館・10/11上灘コミュニティセンター

②支え愛マップづくりの取組状況

【目標】40地区／年

【R6実績(R7年1月16日時点)】新たに20地区が作成

【取組み時に活用いただきたい動画(県社協作成)】

支え愛でまちづくり！～「支え愛マップ」でつながる地域～

<https://www.youtube.com/watch?v=HaDYnCUTO9w>(YouTubeにて公開) 支え愛でまちづくり！
～「支え愛マップ」でつながる地域～



取組状況



支え愛マップ完成



マップを活用した避難訓練や救急救命研修を実施



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

あんしんトリピーメール・防災アプリ「あんしんトリピーなび」

県

県内の防災・危機管理情報をいち早くお届けします。いざというとき必要な情報を受け取れるようあらかじめ登録・ダウンロードをしておきましょう。

■ 欲しい情報が選べます

 気象警報・注意報 大雨警報、大雪警報、大雨特別警報 等	 公共交通情報 列車の運休、航空機の欠航 等
 地震情報 震度3以上	 道路情報 道路の通行止め 等
 津波情報 大津波警報、津波警報、津波注意報	 ライフライン情報 停電情報 等
 気象情報 土砂災害警戒情報、竜巻注意情報 等	 生活・健康情報 黄砂、熱中症警戒アラート、感染症情報 等
 防災・危機管理情報 避難情報(避難指示等)、国民保護情報	 防犯情報 不審者、行方不明者情報 等

■ 登録・ダウンロード無料

メール受信、ダウンロードにかかる通信費は利用者の負担となります
※通信費は携帯会社との契約内容によって異なります

■ 登録方法はコチラ

県の公式ホームページ（とりネット）で登録・ダウンロード方法をご案内しています
以下のQRコードを読み取ると該当ページにアクセスできます

■ あんしんトリピーメール



■ 防災アプリ
あんしんトリピーなび



あんしんトリピーメール

登録された方の携帯電話やスマートフォンに電子メールでお知らせするサービスです。

■ テキスト版と背景色版が選べます

背景色版では、内容によってメール本文の背景色が変わります

赤▶ 気象特別警報、気象警報の発表や避難情報、国民保護情報など

黄▶ 気象注意報の発表、通行止め発生情報、生活・健康情報など

青▶ 気象警報・注意報の解除、通行止め解除情報、停電復旧情報など



防災アプリ（あんしんトリピーなび）

鳥取県が提供する総合防災アプリです。

多言語
対応

■ お知らせを一覧で表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します（プッシュ通知も可能）

■ 最寄りの避難所等を自動リストアップ

マップで現在地からの経路を自動表示します

■ 河川・道路状況のライブ画像

河川水位や道路の積雪等の状況を確認できます

■ 多言語表示に対応

端末の設定言語に応じてアプリ内の表示言語が切り替わります

対応言語

英語、中国語（繁体字）、
中国語（簡体字）、韓国語、
ロシア語、ベトナム語、
フィリピン語、タイ語、
インドネシア語



複数のシステム・サイトで分散して提供されている**防災情報を集約したポータルサイト**です。
 (R6.6公開、R7.4機能追加)。
 速やかな情報発信により県民に対して適時的確な避難行動を促します。



スマートフォンでも閲覧しやすいデザイン



防災情報

- ・気象
- ・停電
- ・公共交通
- ・通行規制
- ・お知らせ
- …など

地図表示

- ・気象警報
- ・道路監視カメラ (ゆきみちなび)
- ・河川監視カメラ
- ・ダム、河川水位
- ・雨量
- ・積雪深

防災情報の一覧表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します。

気象警報などの防災情報を地図上で重ね合わせて表示

地図上で重ね合わせて各種防災情報を表示することで、緊急時にも使いやすく、分かりやすい形で情報を提供します。

アクセス集中時の安定稼働

サイトへのアクセスが集中した時でも安定して動作するサイトです。

取組 7.8 河川監視カメラ、水位計の設置状況

継続実施

県

●重要水防区域や溢水の恐れのある箇所、河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を必要な箇所に継続して設置していく。

【設置状況】(R7.3時点)

河川監視カメラ : 175箇所
水位計 : 71局
危機管理型水位計: 103基

公開サイト

鳥取県防災情報ポータル（鳥取県危機管理部提供）
<https://tori-bousai.jp/>

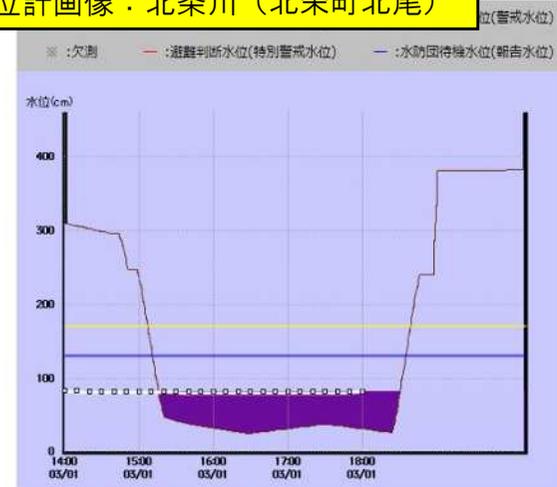
※河川課の河川監視カメラ提供システム、道路企画課の雪みちナビ等を集約したサイトを構築したもの



監視カメラ画像：大路川（鳥取市吉成）



水位計画像：北条川（北栄町北尾）



危機管理型水位計の設置事例：江東川（大山町清原）



【危機管理型水位計の課題】

2～3年での修繕事例が多く、本体交換の事例も必要
(設置費用は安価だが、維持管理費用が増加する場合もある)

佐治川ダム 百谷ダム 東郷ダム

避難体制の確立に向けて、各ダムにおいて、ダム機能や放流操作に係る周知（行政職員講習会・住民説明会等）を実施するとともに、ダム放流を想定した避難訓練を行う。

<住民周知(チラシ配布)の実施>

佐治川ダム(佐治川流域の全戸)

日時：令和6年3月

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を配布

百谷ダム(鳥取市稲葉山地区 1,400戸)

日時：令和6年8月

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を配布

東郷ダム(東郷ダム下流域の全戸)

日時：令和6年8月

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を配布

<佐治川ダム流域の安全確保>

日時：令和5年10月～令和6年2月

内容：緊急放流の対応を踏まえた佐治川流域の安全確保の検討
有識者や地元との意見交換において、抽出された課題、対策内容をとりまとめ、ロードマップとして公表し、順次実施。

<東郷ダム見学(ぐるり水の探検隊)、ライトアップ>

■ぐるり水の探検隊

日時：令和6年7月27日

内容：毎日使っている「水」がどんな旅をしているのか探検

場所：東郷ダム、天神浄化センター、円谷町水源地

参加：小学生親子(20家族50名)

■東郷ダムライトアップ予定

日時：令和7年7月、8月、10月、12月

内容：定期的な、ライトアップ(試験点灯)を行い、ダムのPRと地域振興を図る。

佐治川流域安全確保のロードマップ

項目	短期(概ね1年)	中期(概ね3年)	長期(3年以上)
I 防災意識	集落の防災活動の支援	以降継続	
	防災情報の積極的な情報発信	以降継続	
II 避難所、避難路	広域避難路の状況確認、バイパス整備等の検討		
	指定避難所以外の安全な一時避難所の確保(集会所や個人宅等)		以降継続
	避難者のニーズに即した備蓄品の提供体制の構築等		以降継続
	早期や分散避難の呼びかけ等	以降継続	
III 防災情報発信、ダム情報の周知	WEBサイトの工夫・ダム管理回覧等	以降継続	
	家屋危険倒壊ゾーンの公表	以降継続	
IV 緊急時の情報伝達、安否確認	安否確認等の取組支援	以降継続	
	「音声告知端末」を通じたダム放流の検討		以降継続
	放送サイレン内容の周知	以降継続	
	地元とのホットラインの構築検討	以降継続	
V ダム操作・河川整備等	ダムの構造・機能・操作方法の周知	以降継続	
	早期の事前放流		気象予測と流入量予測システムの精度改善
★ その他	災害復旧の推進と施設弱部の機能強化の検討、及び河道掘削の実施		
	防災意識の向上×ダム機能の周知×防災訓練×ダムの魅力発信＝流域の防災力向上 流域の特徴でもある「ダムを基軸とした、コミュニケーションの場の創造と提供の取組」の推進		

東郷ダムライトアップ(試験点灯)



東郷ダム見学(ぐるり水の探検隊)



ダム機能・操作の周知及び避難訓練の実施

県

賀祥ダム 朝鍋ダム

避難体制の確立に向けて、各ダムにおいて、ダム機能や放流操作に係る説明会を開催し周知を図る。ダム見学会においても、防災意識向上のため、洪水調節・緊急放流等を説明。

<住民周知(チラシ配布)>

(南部町)

日時：令和6年8月1日(木)

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を町報と一緒に全戸配布

<住民説明会(賀祥ダム)>

(上鴨部地区)

日時：令和6年3月24日(日)

参加者：20名

(南部町防災士連絡協議会)

日時：令和6年5月29日(水)

参加者：15名

(南さいはく地域振興協議会)

日時：令和6年8月29日(木)

参加者：25名

(法勝寺地区地域振興協議会)

日時：令和6年9月29日(日)

参加者：30名

内容：ダムの概要(洪水調節・緊急放流)及び浸水想定区域図について説明

<住民説明会(朝鍋ダム)>

(市山地区)

日時：令和6年7月20日(木)

参加者：10名

<賀祥ダム見学会>

(南さいはく地域振興協議会)

日時：令和6年6月9日(日)

参加者：20名

(南部町視覚障がい者協会)

日時：令和6年6月16日(日)

参加者：20名

(湯梨浜町高齢者クラブ連合会)

日時：令和6年6月26日(水)

参加者：50名

(電友会)

日時：令和6年7月20日(土)

参加者：17名

内容：ダム見学会に併せてダムの概要(洪水調節・緊急放流)について説明

(法勝寺地域振興協議会)

日時：令和6年9月29日(日)

参加者：30名

(明道小学校)

日時：令和6年10月25日(金)

参加者：52名

(成実環境をよくする会)

日時：令和6年12月2日(月)

参加者：14名

(南部町天津地域振興協議会)

日時：令和6年12月7日(土)

参加者：30名

ダム見学(南さいはく地域振興協議会)
(令和6年6月9日開催)



ダム見学(南部町天津地域振興協議会)
(令和6年12月7日開催)



ダム見学(成実環境をよくする会)
(令和6年12月2日開催)

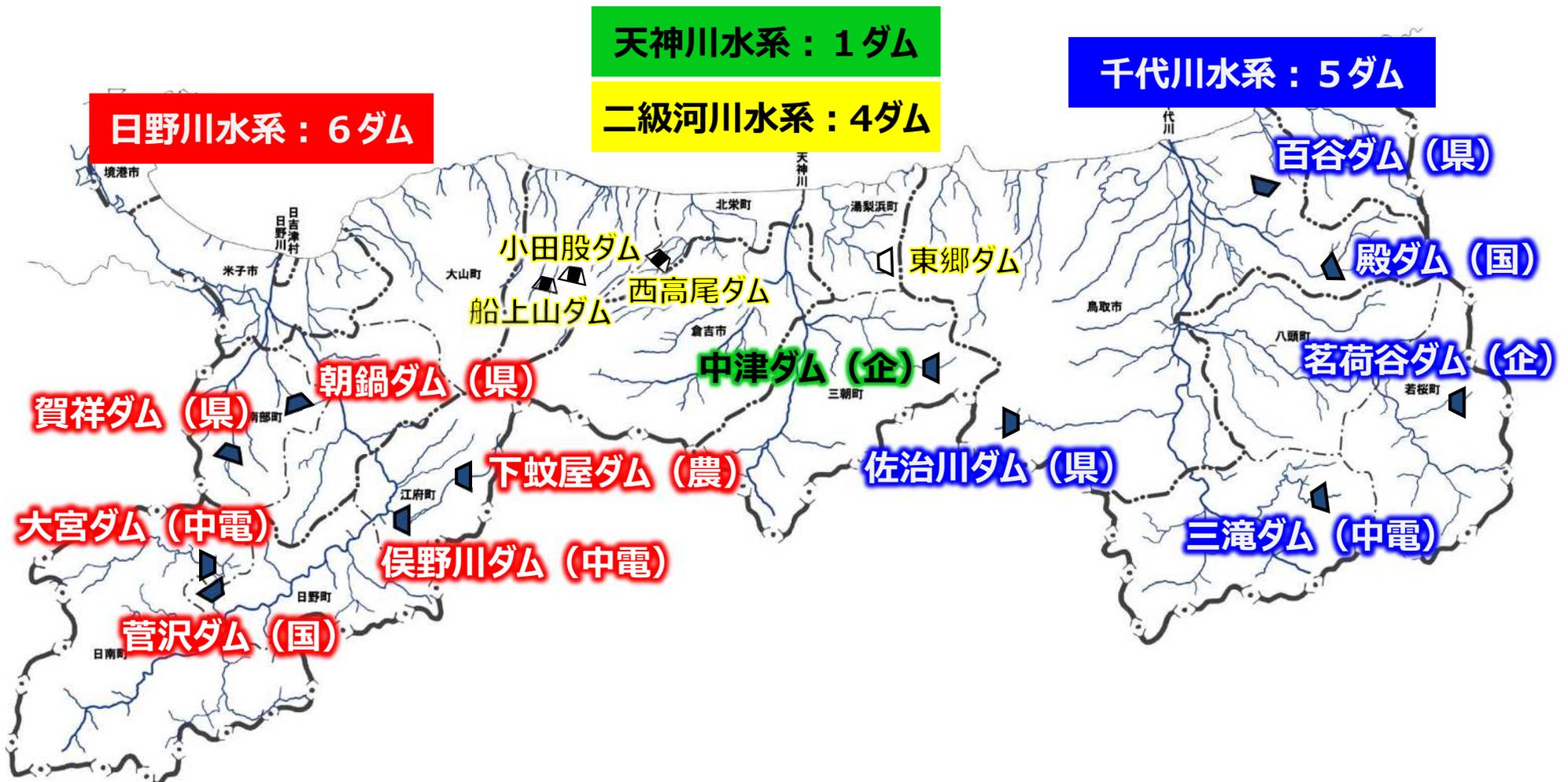


ダム見学(明道小学校)
(令和6年10月25日開催)



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、国より『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』が示された。これは既存ダムにおいて事前放流をすすめるもの。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
千代 川	殿ダム	国交省	1,120万m ³	550万m ³	570万m ³	307mm	311万m ³
“	佐治川ダム	県	188万m ³	147.6万m ³	40.4万m ³	別途運用	22.8万m ³
“	茗荷谷ダム	企業局	40万m ³	—	40万m ³	236mm	27.7万m ³
“	三滝ダム	中電	15.8万m ³	—	15.8万m ³	142mm	14.7万m ³
“	百谷ダム	県	24.2万m ³	20万m ³	4.2万m ³	—	4.2万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 百谷ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注1	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
天神川	中津ダム	企業局	121万m ³	-	121万m ³	346mm	78.3万m ³
橋津川	東郷ダム	県	65万m ³	46万m ³	19万m ³	-	5.4万m ³
由良川	西高尾ダム	北栄町 琴浦町	38.7万m ³	-	38.7万m ³	-	13.8万m ³
洗川	小田股ダム	北栄町 琴浦町	39.0万m ³	-	39.0万m ³	-	14.5万m ³
勝田川	船上山ダム	北栄町 琴浦町	11.3万m ³	-	11.3万m ³	-	4.0万m ³

(※注1) ①累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

②東郷ダム、西高尾ダム、小田股ダム、船上山ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

 県
国

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
日野川	菅沢ダム	国交省	1,720万m ³	【7月】 250万m ³ 【8月】 680万m ³ 【9月】1,650万m ³ 【10月】 510万m ³ 【ほか】 160万m ³	【7月】 1,470万m ³ 【8月】 1,040万m ³ 【9月】 70万m ³ 【10月】1,210万m ³ 【ほか】 1,560万m ³	241mm	104.2万m ³
“	賀祥ダム	県	669万m ³	330万m ³	339万m ³	別途運用	182万m ³
“	朝鍋ダム	県	119万m ³	64万m ³	55万m ³	—	26.5万m ³
“	俣野川ダム	中電	670万m ³	—	670万m ³	251mm	670万m ³
“	大宮ダム	中電	31.9万m ³	—	31.9万m ³	241mm	31.9万m ³
“	下蚊屋ダム	農水省	344万m ³	—	344万m ³	—	26.4万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 朝鍋ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

千代川、天神川、日野川圏域における取組状況（R7年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小・中学校における防災教育の実施

『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水取組、避難等を小・中学校を中心に防災学習を実施した。



県内20校の小中学校防災学習を実施

自治会等における防災学習の実施

福祉施設や、障がい者支援協議会にて利用者やその職員、支援機関の担当者を対象に、災害の基礎知識や、情報収集方法についての講義をおこなった。

また、気象情報やハザードマップの確認方法を説明し、避難時期や避難場所の確認の大切さを伝えた。



北栄町障がい者地域自立支援協議会防災研修



鳥取県消防学校にて新規採用消防職員に対し、自然災害（洪水・土砂災害）について講義を行った。

鳥取県消防学校(米子市)

住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもや住民への防災学習は非常に有効であるため、令和7年度も引き続き実施していく。

千代川、天神川、日野川圏域における取組状況（R7年度以降も継続実施）

・【防災避難対策（ソフト対策）】

防災フェスタの実施状況

- ・防災フェスタにおいては、流域治水にかかる取組や、水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- ・令和6年度は琴浦町総合運動公園にて開催、R7年度は米子市で開催する。



FM ラジオへの出演

- ・FM鳥取や、FM米子にて、大雨による水害や土砂災害から身を守るポイントや、流域治水の取組を紹介した。



・【水防対策（ハード対策）】

堤防舗装の実施

R6 施工箇所：野坂川（鳥取市）



- ・バックウォーター区間、重要水防区域における堤防舗装を実施。
- ・野坂川、八東川、精進川外で実施
- ・R7年度は重要水防区間や個別で優先すべき箇所を引き続き実施

樋門操作の省力化（手動⇒電動化）

- ・地域住民などに市町を經由して操作を委託している手動の樋門について、操作員の負担軽減かつ開閉迅速化による省力化推進のため、電動化に着手。
- ・令和6年度は23基の設置を完了し、令和7年度までに全県で160基（予定）を設置していく。



- ・既設ハンドルを取り外し機器を固定

- ・電動ドリルで昇降作業可能

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

- ・気候変動により激甚な水害が頻発化する中、予算や施工工程等の制約から、従来からの**河川整備のみでの治水対策には限界**が出てきています。
- ・水害による被害を抑制し、安全・安心な地域づくりを実現するため、今後は河川整備の加速化に加えて、流域のあらゆる関係者が協働して**「流域治水」を推進**することが重要です。
- ・本県では、**モデル地区「大路川流域」**において「各地区住民との意見交換」・「代表者を対象とした協議会」を定期的に開催し、丁寧に意見を聞きながら、あらゆる関係者と連携して**流域治水の取組の方向性を議論**してきました。
- ・令和6年3月に**「これまでの成果」と「目指す姿(これからの取り組み)」**のとりまとめを行い、関係者で共有することで「みんなで」同じ方向を向き、流域治水のさらなる推進を図るため、**「大路川流域治水ビジョン」**を策定しました。(令和7年3月 一部改訂)
- ・今後は、本ビジョンをもとに**大路川流域での取組を継続実施**するとともに、先進的な事例として県内各流域治水及び減災対策協議会等を通して、**全県各地の関係者へ展開**していきます。

大路川流域治水ビジョンの概要

【本編】

①概要

協議会の概要
大路川流域治水ビジョンの概要

②流域治水の必要性

気候変動等による災害激甚化
地域のみならず取り組む「流域治水」

③避難時の備え

地元住民の取組、日頃からできること

④これから目指す姿(ビジョン)

【資料編】

・大路川流域の概要、成り立ち

・治水上の課題(リスク)

・これまでの取組内容

河川整備、ソフト対策、田んぼダム、雨水貯留タンク等

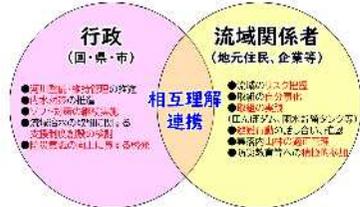
・流域治水の取組の成果(浸水想定シミュレーション)

→取組内容紹介
(QRコード)



【ビジョン策定の目的】

- ・取組の**可視化**
- ・目指す姿の**共有**
- ・取組の**継続化**



流域治水の必要性

- 流域全体(河川区域、集水域、氾濫域)で対策を総動員し、
- ①豪雨時に雨水を貯留すること等により、避難する時間を少しでも稼ぐ。
 - ②取組全体を通して、住民の確実な避難行動に結びつける。



画像出典:「流域治水カワナビ HP」

R3.7月豪雨時の清水川の氾濫状況



排水先の河川整備に合わせ排水機場の能力を増強してきたが、豪雨の頻発化を踏まえて、集まる水を極力抑える貯留対策が重要!

主な取組内容



防災学習



田んぼダム



情報発信



河川整備の推進



雨水貯留タンク



コミュニケーション
(意見交換会・協議会)



避難訓練

- モデル地区での取組をまとめた「大路川流域治水ビジョン」を活用しながら、令和6年度は、情報発信、雨水貯留タンク設置に合わせた防災学習等に注力し、流域治水の取組を周知の拡大を図りました。
- 令和7年度も引き続き、全県展開を進めていきます。

＜県内関係機関への周知＞

国、県、全市町村のほか関係機関が出席する「流域治水及び減災対策協議会」でビジョン内容を紹介



＜広報誌の発行＞

- ・大路川流域治水通信
- ・若葉台地区自治会だより

＜ラジオ出演＞

ラジオ出演による流域治水の紹介

- 9/19 FM鳥取 (RADIO BIRD 82.5)
- 10/4 FM米子 (DARAZ FM 79.8MHz)

＜防災学習の実施＞

県内小学校等で水害リスクや流域治水等の防災学習を実施

泊小学校 R6.6.18



賀祥ダム R6.12.7



修立小学校 R6.9.18



＜雨水貯留タンクの試行設置拡大＞

中部、西部にも雨水貯留タンクの試行設置を拡大(R6:4基、R7:4基)

＜防災フェスタ、グッズ配布＞

防災フェスタで流域治水模型による来場者への周知あわせて、流域治水グッズを配布



R6.9.15 防災フェスタ

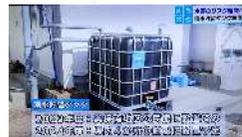
流域治水クリアファイル



＜報道機関による情報発信＞

試行設置の状況をテレビ、新聞で取り上げていただき、広く住民に周知

R6.11.12 日本海新聞



R6.11.14 日本海ケーブルネットワーク

流域治水考える契機に

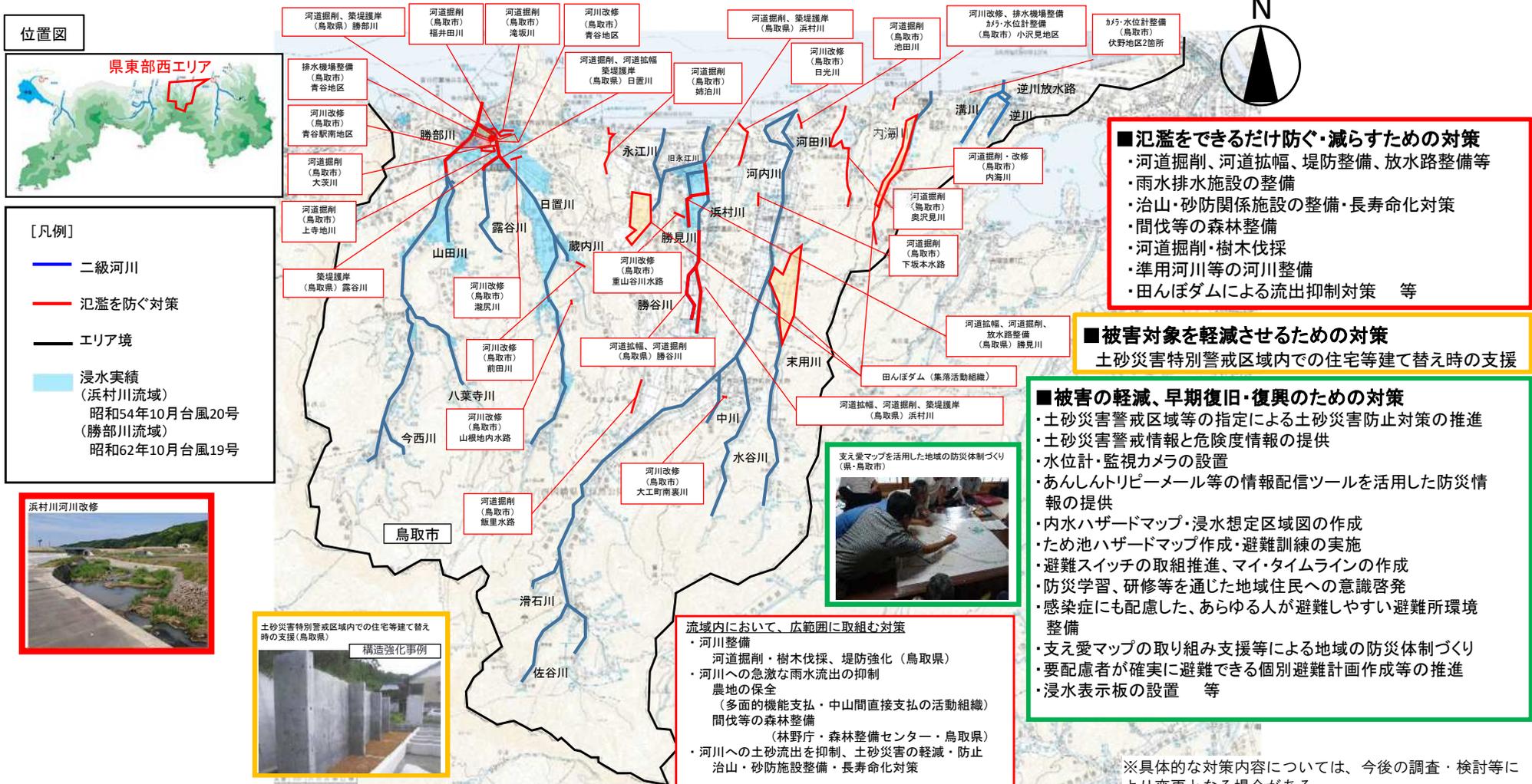


• 二級水系流域治水プロジェクト 更新状況

地区			今回更新内容	備考
東部地区	東エリア	塩見川・蒲生川外水系		R3.6.4更新
	西エリア	浜村川・勝部川外水系		R5.6.5更新
中部地区	東エリア	橋津川外水系		R4.9.1更新
	西エリア	由良川外水系	灘手、穂波地区避難路かさ上げ (北栄町・鳥取県)	令和7年1月書面開催 田んぼダム追加(北栄町 11地区)
西部地区	東エリア	佐陀川外水系		R5.5.30更新
	西エリア	加茂川外水系		R5.5.30更新

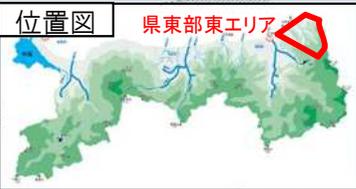
～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、浜村川、勝見川、勝谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和54年10月台風20号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
また、勝部川、日置川、露谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
- このうち、塩見川、箭溪川及び江川については、観測史上最大の被害規模である昭和51年9月台風17号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害を軽減を図ります。
- また、蒲生川については、観測史上最大の降雨が発生した平成2年9月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、災害発生防止及び軽減を図ります。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 河道掘削、河道拡幅、堤防整備、放水路整備、樹木伐採
 - 排水機場の整備
 - 治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
 - 間伐等の森林整備
 - 樋門の長寿命化対策
 - 準用河川等の河川改修、河道掘削 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- 土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
 - 土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
 - 水位計・監視カメラの設置
 - あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
 - 内水ハザードマップ・浸水想定区域図の作成
 - ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施
 - 避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成
 - 防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
 - 感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
 - 支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
 - 要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進
 - 浸水表示板の設置 等



- 流域内において、広範囲に取組む対策
- 河川整備
 - 河道掘削・樹木伐採・堤防強化 (鳥取県)
 - 河川への急激な雨水流出の抑制
 - 農地の保全 (多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織)
 - 間伐等の森林整備(林野庁・森林整備センター・鳥取県)
 - 河川への土砂流出を抑制、土砂災害の軽減・防止
 - 治山・砂防施設整備・長寿命化対策

【凡例】

- 二級河川
- 氾濫を防ぐ対策
- 浸水実績 (蒲生川水系 平成2年9月台風19号) (塩見川水系 昭和51年9月台風17号)
- エリア境界
- 市町村境界

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

橋津川外流域治水プロジェクト（県中部東エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、橋津川については、東郷池周辺において、多くの浸水被害が発生した平成23年9月台風12号洪水と同規模の洪水から家屋浸水被害の軽減を図ります。
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

位置図



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・築堤護岸
- ・河道掘削・樹木伐採・堤防強化
- ・水門の長寿命化対策
- ・排水機場の整備
- ・間伐等の森林整備
- ・治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
- ・避難路確保のための道路嵩上げ
- ・東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築
- ・田んぼダムによる流出抑制対策 等

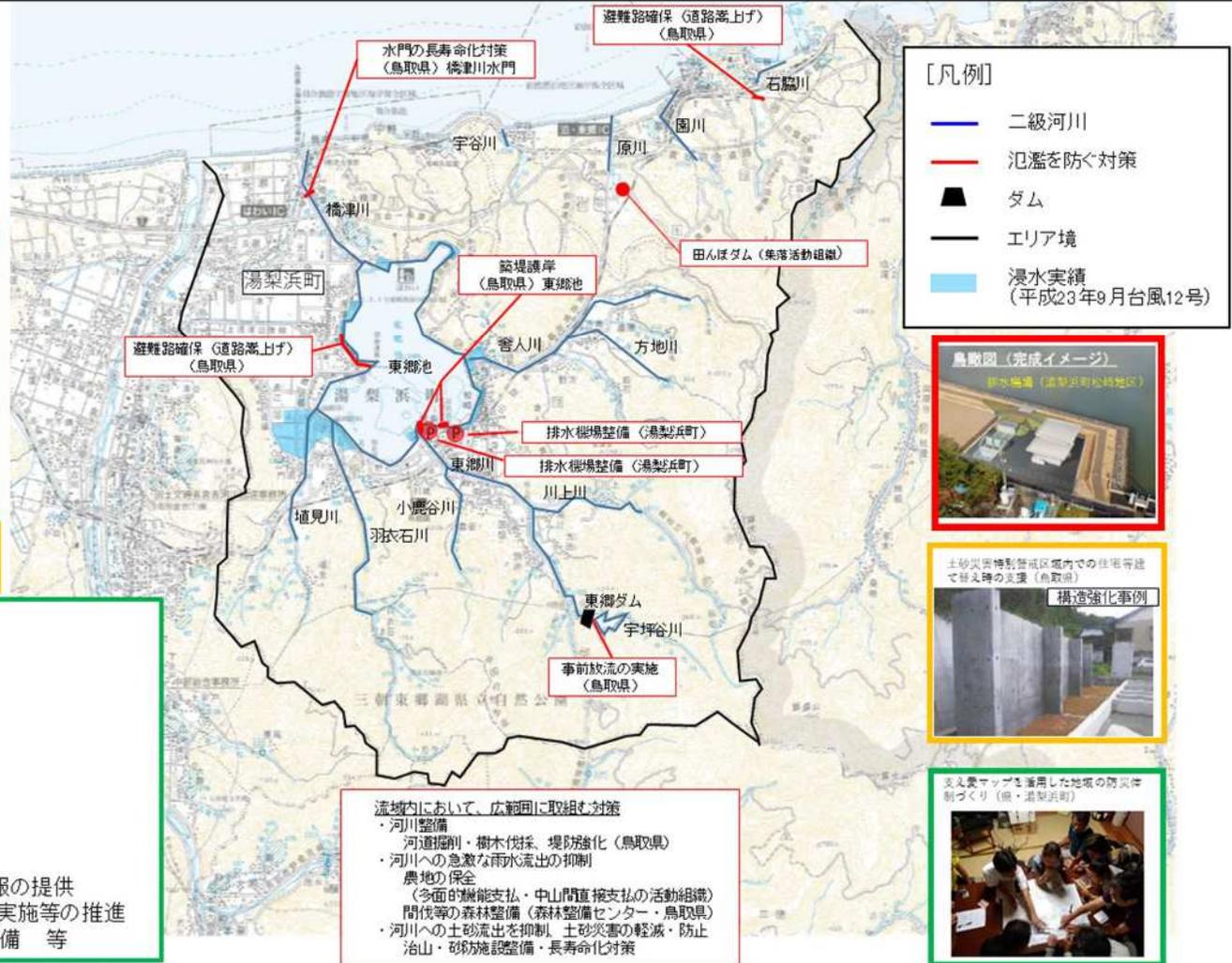
■ 被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
- ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
- ・水位計・監視カメラの設置
- ・まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施
- ・避難スイッチの取組推進
- ・ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施
- ・広域的な避難の必要性の検討
- ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- ・あんしんトリプーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- ・要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進
- ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備 等

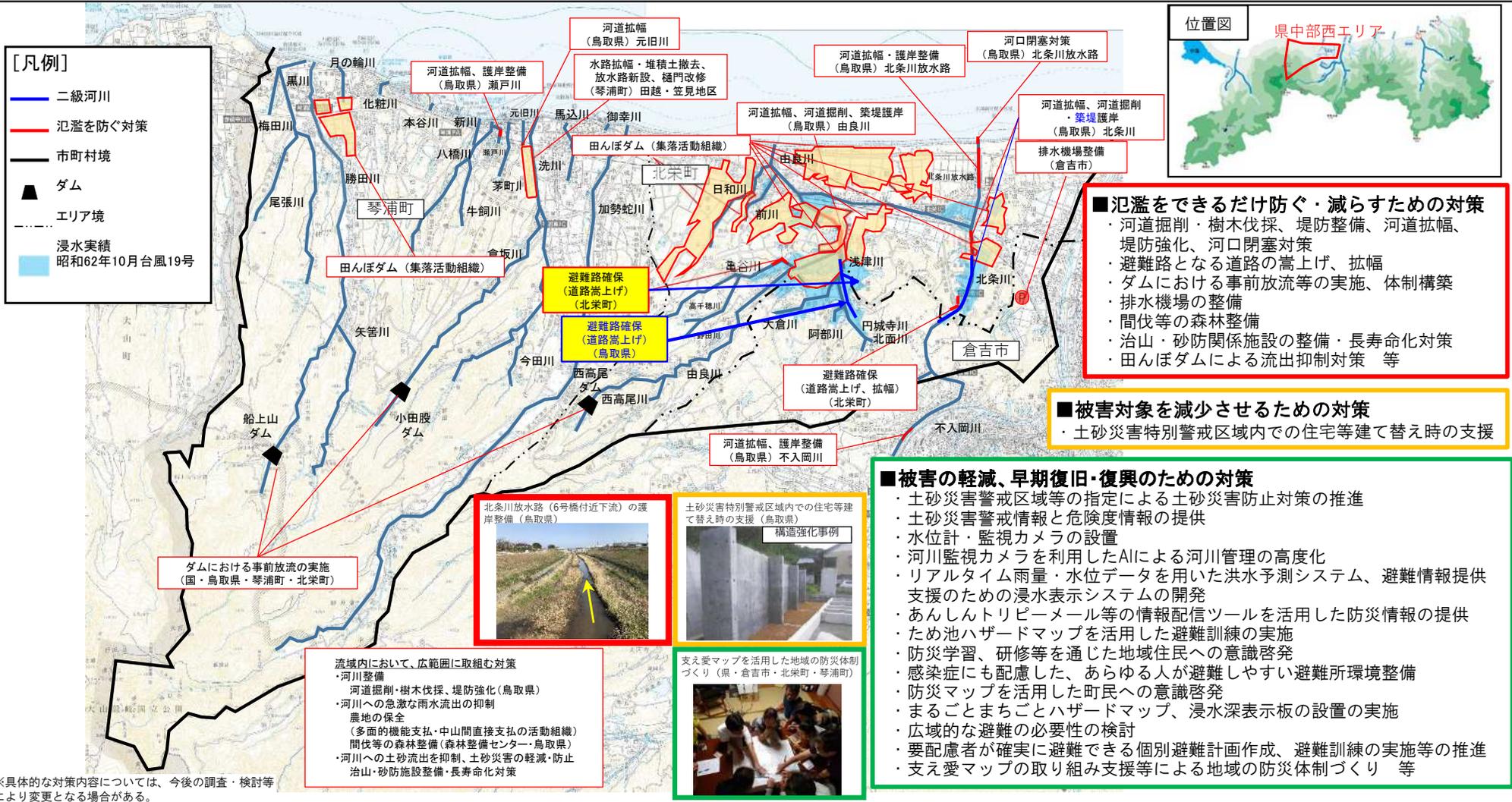
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、由良川・北条川については、観測史上最大被害である昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害軽減を図ります。
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

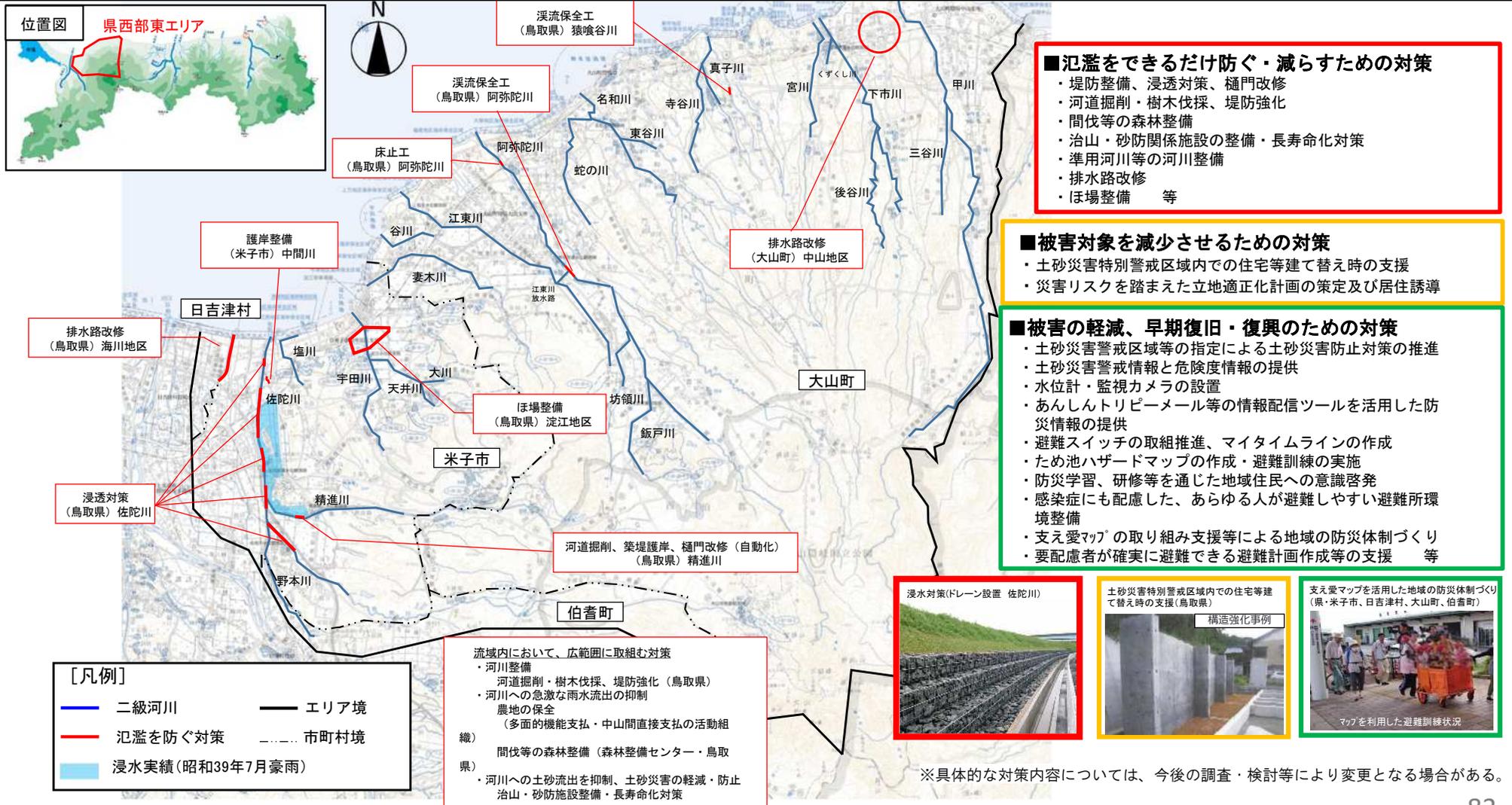


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



・各機関の取組について

【円滑かつ迅速な避難の実現】

鳥取市防災アプリ



鳥取市防災アプリの特長

- ① 緊急プッシュ通知
- ② 防災行政無線・Jアラート連動
- ③ 防災地図
- ④ 災害3Dイメージ (AR)
- ⑤ 多言語 (9カ国) 対応
- ⑥ **マイ・タイムライン作成支援機能**
- ⑦ **コミュニケーションボード機能**

鳥取市防災アプリ ダウンロードはこちら



13, 250ダウンロード (令和7年2月14日現在)

ワンコイン浸水センサの設置事例の紹介

<浸水センサ設置概要>

- 設置場所：鳥取市福部町湯山、海士
鳥取市吉成南町一丁目、宮長
- 設置概要（台数）：16台
 - ・福部町湯山、海士 10台(R7.3月設置)
 - ・吉成南町一丁目、宮長 6台(R6.10月設置)

○設置箇所の選定について

危機管理課、河川公園課、道路課、下水道企画課などの関係課で協議し、浸水常襲箇所である福部町湯山、吉成南町一丁目などを選定した。

○設置する目的

- ・河川や水路の溢水状況を確認し、早期の避難判断や迅速な浸水対応を行うため。
- ・浸水状況（浸水区域、時間など）を把握し、今後の対策を検討するため。
- ・通行止めの判断の目安とするため。

○今後の運用について

センサ設置後、浸水を検知していないため、継続して活用しつつ今後の対応を検討する。



吉成南町一丁目



福部町湯山



宮長



福部町湯山

防災行政無線システムの更新による災害時の情報伝達の強化

従来からの倉吉市防災行政無線システムの特徴

屋内受信機

大雨等の荒天時にも避難情報を確実に届けるために、各世帯及び要配慮者利用施設に屋内受信機を無償貸与。

コミュニティ放送

市民の利便性の向上を図ると共に、設置率及び稼働率の向上を図るため、屋内受信機へ各集落のコミュニティ放送を配信。

早期避難を実現するための情報伝達手段の強化

防災放送アプリ

外出先や避難先でも市の防災行政放送や集落のコミュニティ放送がスマートフォンで確認できる防災放送アプリを導入。

SNS同時配信

倉吉市からの防災行政放送について、防災無線との同時配信が、EメールとLINEに加え、XとFacebookも追加。

最悪の事態を想定した災害耐性の強化

浸水対策

洪水浸水想定区域内にある屋外拡声スピーカークの無線機器等について、高所化を図り、洪水時の情報通信体制を確保。

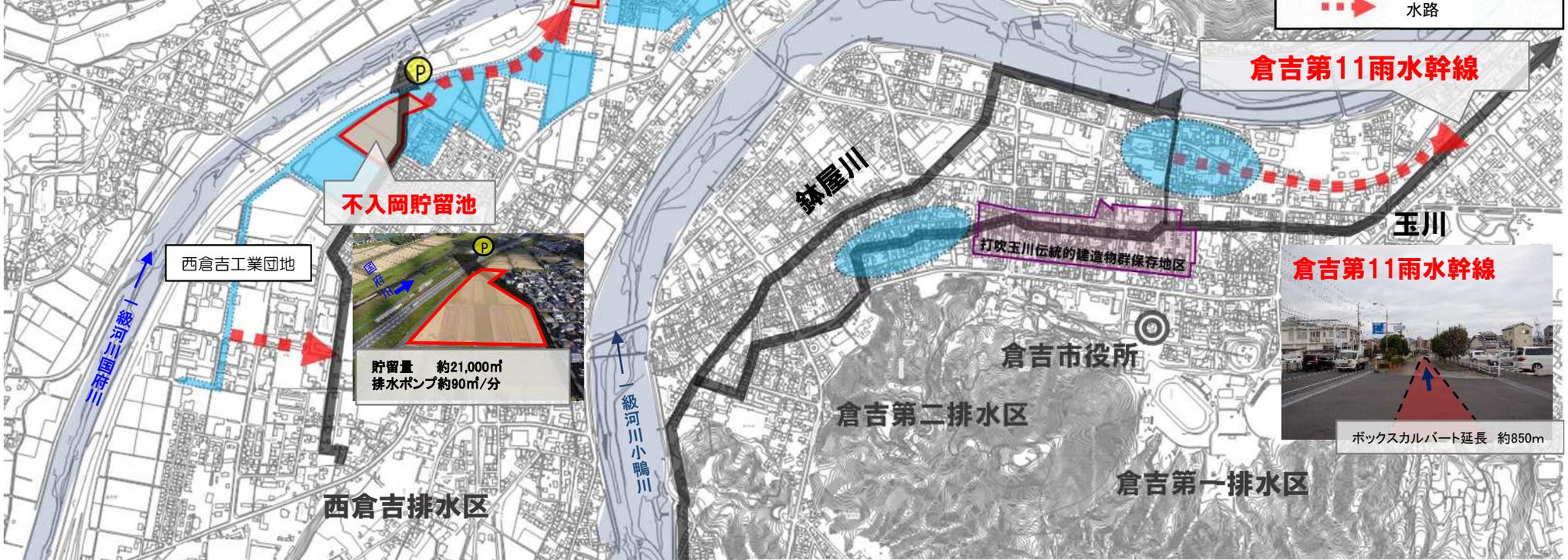
停電対策

機器の省電力化を図ることで、停電時の屋外拡声スピーカークのバッテリー駆動24時間から72時間へ強化。

倉吉市公共下水道事業（雨水）内水対策の計画



R3.7 豪雨



凡例

- 過去浸水範囲
- 既設水路・河川等

計画

- 貯留池
- 排水ポンプ
- 水路

西倉吉排水区（福守町～秋喜地区）内水対策

- 西倉吉排水区（福守町～秋喜の区域）には、西倉吉工業団地や西福守団地、鳥取県立倉吉西高等学校など、倉吉市の重要な地域
- 1級河川小鴨川と国府川に挟まれた地域で台風や豪雨時は、国府川の水位上昇により排水不良による浸水被害が発生する地域。

【被災状況】

- 平成30年台風24号により床下浸水9棟
- 令和3年7月豪雨により床下浸水11棟
- 令和5年台風7号により道路冠水

【対応状況】

- 令和5年 倉吉市流域関連公共下水道事業計画変更
- 令和6年度～ 西倉吉排水区基本設計業務、事業評価業務

倉吉第2排水区（明倫・成徳地区）内水対策

倉吉市明倫・成徳地区は、「打吹・玉川伝統的建造物群保存地区」として指定された倉吉市随一の観光名所

明倫・成徳地区の雨水を排水する倉吉第3雨水幹線（鉢屋川）は台風・豪雨時に1級河川小鴨川の水位上昇により排水困難となり浸水被害が発生する地域。

【被災状況】

- 平成29年台風18号により床上浸水6棟、床下浸水84棟
- 平成30年台風24号により床下浸水16棟
- 令和5年台風7号により床下浸水2棟

【対応状況】

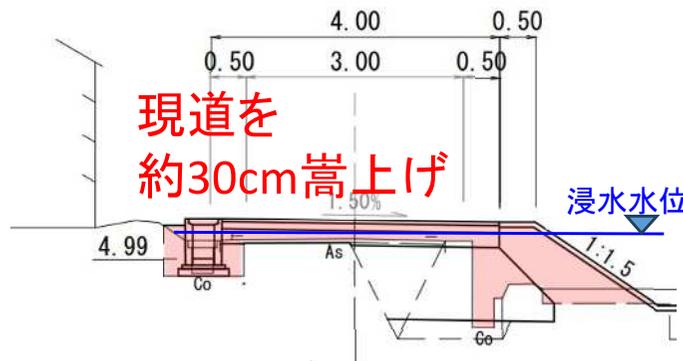
- 平成30年 倉吉市流域関連公共下水道事業計画変更
- 令和元年～2年度、明治町二丁目雨水排水ポンプ施設整備
- 令和6年度～ 下流側から整備開始

北栄町の取組

ハード対策

道路冠水常襲箇所等の解消に向けた道路工事に着手

- ✓ 下条線ほか1路線 (R2完)
- ✓ 島嶼道線 (R4完)
- ✓ 米里北尾線 (R5 (1工区完成))
- ✓ 米里19号線 (R5完成)
- ✓ 米里12号線 (R6完成)
- ✓ 島4号線 (R6完成)
- ✓ 米里曲線
- ✓ 高千穂西穂波線
- ✓ 大谷西屋敷1号線
- ✓ 松神2号線外4路線)



米里12号線 (施工前)



米里12号線 (嵩上げ後)



ソフト対策

情報配信アプリの導入 (R6完成)

災害情報などの情報伝達手段の多重化を目的として導入。

- ✓ 時間や場所の制約を受けず、町や自治会からの情報を確認できる環境づくり
- ✓ 音声だけでなく文字等により確実に質の高い情報伝達
- ✓ 様々な防災、行政情報 (日常に役立つ生活情報を含む) の配信



家に設置された告知機の内容を
スマホやタブレット端末で確認できる!

伯耆町の取組

【平時の取り組み】

- ・ 出水期の事前啓発活動（広報紙、町ケーブルテレビ、防災無線 等）
- ・ 防災講演会の実施
R6年度実績 1回
（食生活改善推進委員）
- ・ 備蓄品の整備

【住民の避難に関する取組】

- ・ 避難についての知識やハザードマップの活用方法についてケーブルテレビにて周知
- ・ ペット同行避難について避難所選定等の検討を開始

【防災訓練等】

- ・ 日野川総合水防演習への参加（消防団）
- ・ 地震を想定した避難訓練の実施
※R6年度は荒天のため中止



備蓄品の整備



日野川総合水防演習

江府町の取組

防災学習等

- ・ こどもサロンでの防災教育
- ・ 防災士の養成

住民の避難に関する取組

- ・ 防災座談会の開催
- ・ 江府町総合防災訓練において段ボールベッド、間仕切りの作成訓練

避難所での段ボール間仕切り作成訓練



防災資機材の配備

- ・ スターリンク・蓄電池設備を配備し災害時の通信手段を確保する

蓄電池設備



Starlinkの通信状況調査訓練

